

(5)

日
華
協
議
資
料

B-0049





日華協議記錄

ニ基キテ
日華新關係の
方針

昭和十三年十二月二十日、日本側影佐禎昭、今井武夫ノ兩名ハ中國側
高宗武、梅思平ノ兩名ト左記ノ如キ内容ヲ協議成立セリ

左記

一、此の如き
日華新關係の
方針を以テ
日華協定とス

第一、日華兩國ハ共產主義ヲ排撃スルト共ニ侵略的諸勢力ヨリ東亞ヲ解
放シ東亞新秩序建設ノ共同理想ヲ實現センカ爲メ相互ニ公正ナル關
係ニ於テ軍事、政治、經濟、文化、教育等ノ諸關係ヲ律シ善隣友好
共同防共、經濟提携ノ實ヲ舉ケ強固ニ結合ス之カ爲左記條件ヲ決定
ス

第一條 日華防共協定ヲ締結ス

其ノ内容ハ日獨伊防共協定ニ準シテ相互協力ヲ律シ且日本軍ノ防
共駐屯ヲ認メ内蒙地方ヲ防共特殊地域トナス

第二條 中國ハ滿洲國ヲ承認ス

第三條 中國ハ日本人ニ中國内地ニ於ケル居住、營業ノ自由ヲ承認

シ日本ハ在華治外法權ノ撤廢ヲ許容ス

又日本ハ在華租界ノ返還ヲモ考慮ス

第四條 日華經濟提携ハ互惠平等ノ原則ニ立チ密ニ經濟合作ノ實ヲ

舉ケテ日本ノ優先權ヲ認メ特ニ華北資源ノ開發利用ニ關シテハ日

本ニ特別ノ便利ヲ供與ス

第五條 中國ハ事態ノ爲生シタル在華日本居留民ノ損害ヲ補償スル

ヲ要スルモ日本ハ戰費ノ賠償ヲ要求セス

第六條 協約以外ノ日本軍ハ日華兩國ノ平和克復後即時撤退ヲ開始
ス

但シ中國内地ノ治安恢復ト共ニ二年以内ニ完全ニ撤兵ヲ完了シ中

國ハ本期間ニ治安ノ確立ヲ保證シ且駐兵地點ハ相方合議ノ上之ヲ決定ス

第二日本政府ニ於テ右時局解決條件ヲ發表セハ汪精衛氏等中國側同志ハ直ニ蔣介石トノ絶縁ヲ闡明シ且東亞新秩序建設ノ爲 日華提携並反共政策ヲ聲明スルト共ニ機ヲ見テ新政府ヲ樹立ス

昭和十三年十一月二十日

日本側	影 佐 禎 昭	今 井 武 夫
中國側	高 宗 武	梅 恩 平

日華協議記録諒解事項

3
一 第一條ノ防共駐屯ハ内蒙及遼綏線確保ノ爲平津地方ニ駐兵スルモノ
トス

又其駐兵期間ハ日華防共協定有効期間トス

二 第四條ノ優先權トハ列國ト同一條件ノ場合ニ日本ニ優先權ヲ供與ス
ル意トス

三 日本ハ事態ノ爲メ生シタル難民ノ救済ニ協力ス

昭和十三年十一月二十日

日本側

影
今
リ

中國側

梅
高

B-0049

聲 明

十一月三日

今ヤ陛下ノ御稜威ニ依リ帝國陸海軍ハ克ク廣東、武漢、三鎮ヲ攻略シテ支那ノ要域ヲ戡定シタリ 國民政府ハ既ニ地方ノ一政權ニ過キス然レトモ尙ホ同政府ニシテ抗日容共政策ヲ固執スル限リコレカ潰滅ヲ見ルマテ帝國ハ斷シテ矛ヲ收ムルコトナシ 帝國ノ翼求スル所ハ東亞永遠ノ安定ヲ確保スヘキ新秩序ノ建設ニ在リ 今次征戰究極ノ目的亦此ニ存ス

コノ新秩序ノ建設ハ日滿支三國相携ヘ政治經濟文化等各般ニ亘リ互助連環ノ關係ヲ樹立スルヲ以テ根幹トシ東亞ニ於ケル國際正義ノ確立、共同訪共ノ達成、新文化ノ創造、經濟結合ノ實現ヲ期スルニアリ、是レ實ニ東亞ヲ安定シ世界ノ進運ニ寄與スル所以ナリ

帝國カ支那ニ望ム所ハコノ東亞新秩序建設ノ任務ヲ分擔センコトニ在

リ、帝國ハ支那國民カ能ク我カ眞意ヲ理解シ以テ帝國ノ協力ニ應ヘムコトヲ期待ス、固ヨリ國民政府ト雖モ從來ノ指導政策ヲ一擲シソノ人的構成ヲ改替シテ更生ノ實ヲ舉ケ新秩序ノ建設ニ來リ參スルニ於テハ敢テ之ヲ拒否スルモノニ非ス

帝國ハ列國モ亦帝國ノ意圖ヲ正確ニ認識シ東亞ノ新情勢ニ適應スヘキヲ信シテ疑ハス、就中盟朋諸國從來ノ厚誼ニ對シテハ深クコレヲ多トスルモノナリ

惟フニ東亞ニ於ケル新秩序ノ建設ハ我カ肇國ノ精神ニ淵源シ之ヲ完成スルハ現代日本國民ニ課セラレタル光榮アル責務ナリ、帝國ハ必要ナル國內諸般ノ改新ヲ斷行シテ愈々國家總力ノ擴充ヲ圖リ萬難ヲ排シテ斯業ノ達成ニ邁進セサルヘカラス 茲ニ政府ハ帝國不動ノ方針ト決意トヲ聲明ス

B-0049

政府ハ本年再度ノ聲明ニ於テ明カニシタル如ク、終始一貫、抗日國民

十二月二十二日近衛聲明

政府ハ本年再度ノ聲明ニ於テ明カニシタル如ク、終始一貫、抗日國民
政府ノ徹底の武力掃蕩ヲ期スルト共ニ、支那ニ於ケル同盟軍ノ士ト
相繼ヘテ東亞新秩序ノ建設ニ向ツテ邁進セントスルモノテアル、今ヤ
支那各地ニ於テハ更生ノ勢澎湃トシテ起リ、建設ノ氣運益々高マレルヲ
感得セシムルモノカアル、是ニ於テ政府ハ、更生新支那トノ關係ヲ固
整スヘキ根本方針ヲ中外ニ開示シ、以テ帝國ノ眞意徹底ヲ期スルモノ
テアル

日清支三國ハ東亞新秩序ノ建設ヲ共同ノ目的トシテ結合シ、相互ニ善
隣友好、共同防共、經濟提携ノ實ヲ舉ゲントスルモノテアル

之カ爲ニハ支那ハ先ヅ何ヨリモ舊來ノ偏狭ナル觀念ヲ清算シテ抗日ノ
愚ト滿洲國ニ對スル抱泥ノ清トラ一掃スルコトカ必要テアル、即チ日
本ハ支那カ進ンテ滿洲國ト完全ナル國交ヲ修メンコトヲ率直ニ要望ス
ルモノテアル

次ニ東亞ノ天地ニハコミンテルン勢力ノ存在ヲ許スヘカラサルカ故ニ
日本ハ日獨伊防共協定ノ締結ニ則リ、日支防共協定ノ締結ヲ以テ日支
國交調整上喫緊ノ要件トスルモノテアル、而シテ支那ニ現存スル軍情
ニ鑑ミ、コノ防共ノ目的ニ對スル十分ナル保障ヲ舉グル爲ニハ、同協
定繼續期間中、特定地區ニ日本軍ノ防共駐屯ヲ認ムルコト及ビ内陸地
方ヲ特殊防共地域トスヘキコトヲ要求スルモノテアル

B-0049

日支經濟關係ニ就イテハ日本ハ何等支那ニ於テ經濟的獨占ヲ行ハント
スルモノニ非ス、又新シキ東亞ヲ理解シコレニ即應シテ行動セントス
ル營意ノ第三願ノ利益ヲ制限スルカ如キコトヲ支那ニ求ムルモノニモ
非ス、唯飽クマテ日支ノ提携ト合作トヲシテ實效アラシメンコトヲ期
スルモノテアル、即チ日支平等ノ原則ニ立ツテ、支那ハ帝國臣民ニ支
那内地ニ於ケル居住營業ノ自由ヲ容認シテ日支兩國國民ノ經濟的利益ヲ
促進シ且日支間ノ歷史的經濟的關係を鑑ミ、特に北支及内蒙地域ニ於
テハ其ノ資源ノ開發利用上、日本ニ對シ積極的ニ便宜ヲ與フルコトヲ
要求スルモノテアル

日本ノ支那ニ求ムルモノ、大綱ハ以上ノ如キモノテアル、日本カ敢テ
大軍ヲ動かセル眞意ニ徴スルナラハ、日本ソ支那ニ求ムルモノカ區々
タル領土ニ非ス、又賠償ノ賠償ニ非サルコトハ自ラ明ラカテアル、日
本ハ實ニ支那カ新秩序建設ノ分擔者トシテノ應能ヲ實行スルニ必要ナ
ル最少限度ノ保障ヲ要求セントスルモノテアル、日本ハ支那ノ主權ヲ
尊重スルハ固ヨリ、進ンテ支那ノ獨立完成ノ爲ニ必要トスル治外法權
ヲ蠲廢シ且租界ノ返還ニ對シテ積極的ナル考慮ヲ拂フニ吝ナラサルモ
ノテアル

秘

50 部ノ内第 5 號

十二月三十一日印刷
梅 機 關

之印事 迄の事 (目録と一の)

昭和十四年十二月三十一日 皇國路七。より二回印

日支新關係調整ニ關スル協議書類

皇國路

七。より二回印

昭和十四年十二月三十一日
皇國路七。より二回印
10 新佐 順次郎
20 須賀 慶次郎
34 大 佐 伯 記
4 大 佐 伯 記
昭和十四年十二月三十一日
皇國路七。より二回印

B-0049

日支新關係調整ニ關スル協議書目次

日支新關係調整要綱 三條 四款

別紙第一（日支新關係調整ニ關スル基本原則） 五款 四款

別紙第二（日支新關係調整ニ關スル具體原則） 六款 五款

秘密諒解事項

第一 新中央政府ト既成政府トノ關係調整要領

第二 金融、財政關係事項

第三 經濟關係事項

第四 交通關係事項

第五 揚子江下流地帯ニ於ケル日支協力關係事項

第六 日本人顧問職員招聘採用關係事項

第七 主權尊重原則實行ニ關スル支那側要望ニ對スル回答關

係事項

第八 雜件

B-0049

日支新關係調整要綱

一 日支兩國政府ハ別紙日支新關係調整ニ關スル原則ニ準據シ新國交ヲ調整スルコト

ニ 新國交修復以前ニ於テ既成政府ノ辨シタル事項ハ差當リ之ヲ繼承シ事態之ヲ許スニ伴ヒ第一項ノ原則ニ準據シテ調整セラルヘキコト

三 事態繼續中ハ之ニ伴フ特殊ノ事態ノ存在ヲ諒解スルコト

右特殊事態ハ情勢ノ推移乃至事態ノ解決ニ伴ヒ第一項ノ原則ニ準據シ調整セラルヘキコト

B-0049

別紙第一

日支新關係調整ニ關スル基本原則

日滿支三國ハ東亞ニ於ケル新秩序建設ノ理想ノ下ニ相互ニ善隣トシテ結合シ東洋平和ノ樞軸タルコトヲ共同ノ目標ト爲ス、之カ爲基礎タルヘキ事項左ノ如シ

左記

一 互惠ヲ基調トスル日滿支一般提携就中善隣友好、共同防共、經濟提携原則ヲ設定スルコト

二 北支及蒙疆ニ於ケル國防上並ニ經濟上日支間ノ緊密ナル合作地帶ヲ設定スルコト

蒙疆地方ハ前項ノ外特ニ防共ノ爲軍事上並ニ政治上特殊地位ヲ設定

三

スルコト

三 揚子江下流地域ニ於テ經濟上日支間ノ緊密ナル合作ヲ具現スルコト

四 南支沿岸特定島嶼ニ於ケル軍事上緊密ナル合作ヲ具現スルコト

五 右諸項ノ具體的事項ニ關シテハ別紙第二ニ準據シ所要ノ協定ヲ締結スルコト

別紙第二

日支新關係調整ニ關スル具體原則

第一、善隣友好ノ原則ニ歸スル事項

日滿支三國ハ相互ニ本然ノ特質ヲ尊重シ緊密ニ相提携シテ東洋ノ平和ヲ確保シ善隣友好ノ實ヲ導クル爲各般ニ亘リ互助睦隣ノ手段ヲ講スルコト

支那ハ滿洲帝國ヲ承認シ日本ハ支那ノ領土及行政ノ保全並ニ主權ノ獨立ヲ尊重シ日滿支三國ハ新國交ヲ修復スルコト

日滿支三國ハ政治、外交、教育、宣傳、交易等諸般ニ亘リ相互ニ好誼ヲ破壞スルカ如キ措置及原因ヲ撤廢シ且將來ニ亘リ之ヲ禁絶スルコト

日滿支三國ハ相互提携ヲ基調トスル外交ヲ行フコト

四

日滿支三國ハ文化ノ融合、創造及發展ニ協力スルコト

日滿支善隣關係ノ具現ニ伴ヒ日本ハ滿洲國界、治外法權等ノ返還ヲ考慮スルコト

其ニ

日滿支三國ハ協同シテ防共ニ當ル

第二、共同防共ノ原則ニ關スル事項

日滿支三國ハ各々其ノ領域内ニ於ケル共產分子及組織ヲ艾除スルト共ニ防共ニ關スル情報、宣傳等ニ就キ提携協力スルコト

日支協同シテ防共ヲ實行スルコト、之カ爲日本ハ所要ノ軍隊ヲ蒙疆及北支ノ一定地域ニ駐屯スルコト

支那ハ陸屯地域及之ニ關聯スル地域ニ存在スル鐵道、航空、通信、主要港灣及水陸ニ對シ別ニ協定スル所ニ從ヒ日本ノ軍事上ノ必要事項ニ關シ其ノ要求ニ應ズルコト

B-0049

別紙第二

日支新關係調整ニ關スル具體原則

第一善隣友好ノ原則ニ關スル事項

日滿支三國ハ相互ニ本然ノ特質ヲ尊重シ緊密ニ相提携シテ東洋ノ平和ヲ確保シ善隣友好ノ實ヲ達スル爲各般ニ亘リ互助睦隣ノ手段ヲ講スルコト

支那ハ滿洲帝國ヲ承認シ日本ハ支那ノ領土及行政ノ保全並ニ主權ノ獨立ヲ尊重シ日滿支三國ハ新國交ヲ修復スルコト

日滿支三國ハ政治、外交、教育、宣傳、交易等諸般ニ亘リ相互ニ好誼ヲ破壞スルカ如キ措置及原因ヲ激廢シ且將來ニ亘リ之ヲ禁絶スルコト

日滿支三國ハ相互提携ヲ基調トスル外交ヲ行フコト

四

日滿支三國ハ文化ノ融合、創造及發展ニ協力スルコト

日滿支善隣關係ノ具現ニ伴ヒ日本ハ滿洲國界、治外法權等ノ返還ヲ考慮スルコト

第二共同防共ノ原則ニ關スル事項

日滿支三國ハ協同シテ防共ニ當ル

日滿支三國ハ各々其ノ領土内ニ於ケル共產分子及組織ヲ排除スルト共ニ防共ニ關スル情報、宣傳等ニ就キ提携協力スルコト

以下ハニノ項トシテ追加セラル

(海軍ノ發見要望ノタメ)

日本ハ揚子江沿岸特定地点及南支沿岸特定島嶼

並ニ之ニ關聯スル地点ニ艦船部隊ヲ駐留ス

要信

第三

但シ日本ハ平時ニ於テハ其ノ行政權及管理權ヲ尊重スルコト

第三經濟提携ノ原則ニ議スル事項

日滿支三國ハ互助及防共ノ實ヲ爲スル爲メ産業、經濟等ニ關シ長短相補有無相通ノ趣旨ニ基キ平等互惠ヲ旨トスルコト

北支、蒙疆ニ於ケル特定資源ハ中國防上必要ナル埋藏資源ニ關シ

テハ共同防共及經濟合作ノ見地ヨリ日支協力シテ開發シ其ノ利用

ニ關シテハ支那ノ需要ヲ考慮シ日本ニ特別ノ便宜ヲ供與スルコト

其ノ他ノ地域ニ於テモ國防上必要ナル特定資源ノ開發利用ニ關シ

經濟合作ノ見地ヨリ日本ニ必要ナル便宜ヲ供與ス但シ利用ニ關

シテハ支那ノ需要ヲ考慮スルコト

要約

第一般産業ニ就テハ日本ハ支那トノ協議ニ基キ支那ニ必要ナル援助ヲ與フルコト

要約

支那ノ財政、金融（特ニ新中央銀行ノ設立、新通貨ノ發行等）、

經濟政策ノ確立ニ關シ日本ハ支那トノ協議ニ基キ支那ニ必要ナル援助ヲ爲スコト

四交易ニ關シテハ關稅ノ自主ト双方ノ利益トヲ尊重シ妥當ナル關稅

及通關手續ヲ採用スル等日滿支間ノ一般通商ヲ振興スルコト

滿支就中北支間ノ物資供給ニ就キ各自給ヲ妨ケサル範圍ニ於テ便

要約

宜且合理的ナラシムルコト

支那ニ於ケル交通、通信、氣象及測量ノ發展ニ關シテハ日本ハ支

那トノ協議ニ基キ支那ニ必要ナル援助乃至協力ヲ與フルコト

六新上海ノ建設ニ付日本ハ支那トノ協議ニ基キ必要ナル援助及協力ヲ

ナスコト

要約

第四 共通ノ治安維持ニ關スル協力並ニ撤兵ニ關スル事項

日支兩國ハ共通ノ治安維持ニ關シ協力スルコト

一 日本ハ平和克復後約定以外ノ軍隊ノ撤去ヲ開始シ治安確立ト共ニ
二 十年以内ニ之ヲ完了シ支那ハ本期間ニ於テ治安確立ヲ保證スル
コト

要約

ニ 共通ノ治安維持ヲ必要トスル間ノ駐兵地域其他ニ關シテハ日支協
議ノ上之ヲ定ムルコト

要約

ニ 共通ノ治安維持ノ爲メノ陸海部隊ノ駐屯統治ニ關スル地域其他ニ
關シテハ日支協議ノ上之ヲ定ムルコト

要約

四 支那ハ陸海軍及之ニ關聯スル地域ニ存在スル鐵道、航空、通信、
主要港灣及水産ニ對シ別ニ協定スル所ニ從ヒ日本ノ軍事上ノ必要

六

事項ニ關シ其要求ニ應スルコト

但シ日本ハ平時ニ於テハ其ノ行政權管理權ヲ尊重スルコト

第三 其ノ他ノ事項

要約

一 支那ハ別ニ定ムル限ニ依リ日支協力事項ニ關シ日本人顧問、職員
ヲ招聘採用スルコト

上掲の如

ニ 日本ハ事變ノ爲生シタル支那難民ノ救済ニ協力スルコト

ニ 支那ハ事變發生以來支那ニ於テ日本國臣民ノ蒙リタル權利利益ノ
損害ヲ補償スルコト

秘密諒解事項（第一）

新中央政府ト既成政府トノ關係調整要領

第一臨時政府トノ關係調整要領

一 北支トハ内長城線（含ム）以南ノ河北省及山西省並ニ山東省ノ地域トス

ニ 中央政府ハ北支ニ於テ北支政務委員會ヲ設置ス

三 臨時政府ノ名稱ハ之ヲ廢止シ其ノ政務ハ北支政務委員會ニ依リ繼承ス

四 北支政務委員會ノ權限、構成等ニ關スル具體的事項ハ中央政治會議ニ於テ之ヲ決定ス

右權限構成ハ平和克復後左記條項ヲ具現シ得ルヲ以テ限度トシ之ヲ目途トシテ速カニ調整整理セラルヘキモノトス

左記

（一）中央政府規定ノ範圍内ニ於ケル日支協力事項ニ關スル北支ノ地方

的處理中防共及治安協力ニ關スル事項

1 日本軍駐屯ニ伴フ事項ニ關スル處理

2 日支防共及治安協力ニ關スル所要事項ノ處理

3 其ノ他日支軍事協力ニ關スル處理

但シ國防軍ニ關スル處理ハ中央政府ノ北支ニ特設スル軍事處理機關

ニ依ルモノトス又北支政務委員會ノ保有スル綏靖部隊ノ兵力ニ

關シテハ別ニ定ムル所ニ據ル

（二）中央政府規定ノ範圍内ニ於ケル日支協力事項ニ關シ北支ノ地方的

處理中經濟提携就中國防上必要ナル埋藏資源ノ開發利用及日滿蒙

疆及北支間ノ物資需給ニ關スル事項

1 日本ニ對シ資源就中國防上必要ナル埋藏資源ノ開發利用ニ關シ

北支政務委員會ノ保
兵力量ニ就テハ中央
決定スルコト

B-0049

密諒解事項（第一）

新中央政府ト既成政府トノ關係調整要領

一臨時政府トノ關係調整要領

內長城線（含ム）以南ノ河北省及山西省並ニ山東省ノ地

ハ北支ニ於テ北支政務委員會ヲ設置ス

ノ名稱ハ之ヲ廢止シ其ノ政務ハ北支政務委員會ニ依リ繼承

委員會ノ權限、構成等ニ關スル具體的事項ハ中央政治會
之ヲ決定ス

成ハ平和克復後左記條項ヲ具現シ得ルヲ以テ廢廢トシ之
シテ速カニ調整整理セラルヘキモノトス

左記

規定ノ範圍內ニ於ケル日支協力事項ニ關スル北支ノ地方

防共及治安協力ニ關スル事項

駐屯ニ伴フ事項ニ關スル處理

共及治安協力ニ關スル所要事項ノ處理

日支軍事協力ニ關スル處理

軍ニ關スル處理ハ中央政府ノ北支ニ特設スル軍事處理機

モノトス又北支政務委員會ノ保有スル綏靖部隊ノ兵力ニ

別ニ定ムル所ニ據ル

規定ノ範圍內ニ於ケル日支協力事項ニ關シ北支ノ地方的

濟提拂就中國防上必要ナル埋藏資源ノ開發利用及日滿鐵

道ノ物資需給ニ關スル事項

對シ資源就中國防上必要ナル埋藏資源ノ開發利用ニ關シ

北支政務委員會ノ保有スル綏靖部隊ノ
兵力量ニ就テハ中央政治會議前ニ商議
決定スルコト

支那の
行政

特別ノ便宜供與ニ關スル處理

2 日滿蒙疆及北支間物資需給ノ便宜且合理化ニ關スル處理

3 日滿蒙疆及北支間ノ通貨並ニ爲替ニ就テノ協力ニ關スル處理

4 鐵道、航空、通信、主要海運ニ就テノ協力ニ關スル處理

日北支政務委員會カ上記各項ヲ處理セシ場合ハ隨時之ヲ中央政府ニ

報告スルモノトシ中央政府ハ右處置カ規定ノ範圍ヲ脱越セリト認

ムル場合ハ之カ修正ヲナスコトヲ得 但シ日支協力事項ニ就テハ

日本大使ト連絡協議スルコト

四 中央ノ關係法令ニ基キ日本人顧問及職員ノ招聘任用ニ關スル處理

四 中國聯合準備銀行制度及之ニ關聯スル爲替制度ヲ存續スルヲ必要

トスル間ハ中央政府ハ必要ナル助成ヲ爲スモノトス

其ノ具體的要領ハ中央政府ニ於テ日本ト協議ノ上別ニ決定ス

要約

四 其ノ他ノ事項ノ處理

1 北支政務委員會所管經費ハ中央政府ニ於テ一括シテ之ヲ交付
スルモノトス

2 關稅、鹽稅及統稅ハ中央統稅トス

但シ當分ノ間關稅收入剩餘ノ五割及鹽稅收入剩餘ノ七割並統

稅收入ハ北支政務委員會ノ財源トス

徵稅及監督ニ就テハ關稅ハ中央政府、鹽稅ハ中央政府ヨリ派遣

セル人員カ北支政務委員會ト共同シテ之ヲ行ヒ統稅ハ中央政

府ヨリ北支政務委員會ニ委任ス 之カ爲北支政務委員會ヨリ

徵稅官及監督官ヲ推薦シ中央政府之ニ委任ス

3 北支政務委員會ハ内債ニ限り中央政府ノ認可ヲ得テ之ヲ募集

スルコトヲ得

4 北京ニ在ル官有財産中國家ニ屬スルモノハ中央政府ニ歸屬シ
北支政務委員會之ヲ管理ス 又北支各省、市等ニ屬スルモノ
ハ夫々省、市政府等之ヲ管理ス

5 海關、郵政及航空ハ中央政府成立後速カニ其ノ統一管理下ニ
入ラシムルモノトス

有線電報ニ關シテハ右ニ準ス

6 特任官及簡任官ハ中央政府ニ於テ任免ス

但シ當分ノ簡任官ハ北支政務委員會之ヲ推薦スルモノトス

7 北支政務委員會ハ日滿トノ純粹ナル地方的處理ニ關スル交渉
ニ限り之ヲ行フコトヲ得

但シ隨時中央政府ニ報告スルモノトス

8 中央政府ノ決定セル範圍内ニ於テ蒙リトノ地方的連絡ニ關ス
ル處理ハ北支政務委員會之ヲ行フコトヲ得

但シ隨時中央政府ニ報告スルモノトス

第二 維新政府トノ關係調整要領

一 維新政府ノ立場ヲ尊重シ其ノ動向ヲ防止シ中央政府成立迄ハ安シ
シテ政務ヲ繼續セシメ且中央政府ト融合歸一スル如ク考慮スルモ
ノトス

二 維新政府ヲシテ中央政府成立後政務委員會等ヲ設置セサルコトヲ
納得セシムルモ其ノ主要人物ノ體面ト地位トニ關シテハ之ヲ考慮ス

三 中央政府成立シ維新政府解消セル場合ハ中央政府ハ維新政府ノ辦

シタル事項ニ對シ差當リ現狀ヲ維持シ遠カニ之ヲ調整スルモノトス

（揚子江下流地帯ニ於ケル日支間ノ緊密ナル合作ヲ具現スル爲日支
經濟協議會（名稱未定）ニ於テ日支協議シ中央政府又ハ上海市政
府ニ於テ適當ナル方法ヲ講スルモノトス

府ニ於テ適當ナル方法ヲ講スルモノトス

要
要
協

ニ上海ニ就テハ別ニ協定スル所ニ據ル
第三 蒙古聯合自治政府トノ關係調整要領
一 蒙疆トハ内長城線（含マス）以北ノ地域トス
ニ 蒙疆ハ國防上、經濟上日滿支三國強度結合地帯タル特殊性ニ鑑ミ
現狀ニ基キ廣汎ナル自治權ヲ認メタル高度ノ防共自治區域トス
其ノ權限ハ中央政府ノ規定スル内蒙自治法ニ依ルモノトス、而シ
テ内蒙自治法ノ制定ニ就テハ豫メ日本側ト協議スルモノトス
ニ 中央政府ト蒙古聯合自治政府トノ新關係設定ノ爲中央政府會議開
催前汪精衛又ハ其ノ代表者ト德王又ハ其ノ代表者トノ會見ニ於テ
左記各項ヲ文書ヲ以テ約定スルモノトス

左 記

(一) 中央政府ハ現狀ニ基キ蒙古聯合自治政府ノ高度防共自治權ヲ認

ムルコト

(二) 中央政府ト蒙古聯合自治政府トノ關係調整ニ關シテハ本諒解ニ

基キ中央政府成立後別途協定スルコト

四 前項ノ諒解成立セル際ハ蒙古聯合自治政府ハ中央政治會議ニ代表

者ヲ出席セシムルモノトス

ニ 中央政治會議ニ於テハ第三項諒解ノ範圍外ノ論議ハ行ハサルモノ
トス

第四 厦 門

中央政府ハ厦門特別市ヲ設ク

厦門特別市ニ於ケル日支協力事項ニ關シテハ日支間ニ於テ別ニ協定
スルコト

要
要
協

第三 海南島及附近ノ諸島嶼

中央政府ハ海南島及附近ノ諸島嶼ヲ以テ一省トナス

中央政府ハ專員ヲ駐派シ日支協力事項中左記事項ニ關シ圓滑ニ處理

シ得ル如ク措置スルコト

一 軍事協力ニ關スル事項

ニ 經濟提携ニ關スル事項

金融、財政關係

一 中國聯合準備銀行（以下聯銀ト略稱ス）制度及之ニ關聯スル制度
ニ關スル件

聯銀ヲ存續スルヲ必要トスル間ハ左ノ如ク處置ス

ちやうど
 ちやうど
 トロ

正、聯銀券ノ正貨準備率ニ關シテハ中央ノ認可ヲ受ク

發行額及準備金額ハ隨時之ヲ中央政府ニ報告シ中央政府ハ隨時

又ハ常時人ヲ派シテ検査ス

2、聯銀券ノ行使區域ハ北支ヲ以テ限界トス

聯銀券ト新法幣トノ兌換等ニ關シテハ別ニ適當ノ處置ヲ講ス

3、北支ノ爲替統制ハ中央政府ノ政策ニ則リ之ヲ行フモノトス

(備考)

一日本ハ支那ノ財政、金融ノ自主權ヲ尊重ス

ニ中央政府ハ聯銀制度ノ存續ヲ必要トスル期間中之ヲ認ム

三 通貨ノ動搖ヲ生スヘキ原因ヲ釀成セサルコトニ就キ善處スル

コト

ニ華興商業銀行ニ關スル件

華興商業銀行ハ繼續シテ存在スルコトス

新中央銀行成立シ新法幣發行セラルルニ至ラハ華興商業銀行ノ發

行權ヲ取消シ既發行券ハ之ヲ回收スルコト

三、軍票二圓スル件

軍票ニ關シテハ日本側ハ必要以上ノ増發ヲ避ケ其ノ價值ノ維持ニ

努メ之ヲ以テ日本ヨリ輸入スル物資ノ決済ニ充當スル等之方回収

ニ關シテハ遺憾ナキ方法ヲ講ス

要
略

同收以前ノ軍票ト新法幣トノ流通面ニ於テハ相互ニ
充分考慮スルモノトス

B-0049

要約

秘密諒解事項（第三）

經濟關係事項

一 日支合辦國策會社ノ合辦目的ヲ促進達成セシムル爲メ其ノ事業ニ
關シ中央政府ハ適宜日本大使ト協同シ緊密ナル連絡ヲ保ツモノト
ス 但シ中央政府ニ屬スル右會社ノ行政監督權ヲ尊重スルコト
又北支ニ於ケル地方的處理事項ニ關シテハ中央政府ノ定ムル範圍
内ニ於テ北支政務委員會ハ前記要領ニ準シ處理ス
ニ 支那ハ對外貿易ニ關シ統制ヲ必要トスル場合ハ自主的ニ之ヲ行フ
モ日支新關係調整要綱第三經濟提携ニ關スル原則ト牴觸セサルヘ
キコト

北支

秘密諒解事項（第四）

交通關係事項

全支ニ於ケル航空ノ發達、北支ニ於ケル鐵道、日支間及支那沿岸ニ於ケル主要海運、揚子江ニ於ケル水運及北支並ニ揚子江下流ニ於ケル通信ハ日支交通協力ノ重點トスルコト

之カ爲具體的方案左ノ如シ

全支ニ於ケル航空ニ就テハ中國、歐亞及中華各航空會社ノ制度ヲ參照シテ合辦トス

全支鐵道ハ國有國營トス 但北支ニ關シテハ別ニ定ムル所ニ據ル

海（水）運ハ現事態ニ對シ合理的調整ヲ加フ

北支及揚子江下流ニ於ケル通信ニ就テハ日本ハ支那ト協議シ支那ニ援助乃至協力ヲ與フ

有線電報ハ國有國營トシ事態之ヲ許スニ伴ヒ調整ス

秘密諒解事項（第五）

揚子江下流地帯ニ於ケル日支協力
關係事項

要約

一 日支兩國ハ揚子江下流地帯特ニ上海ニ於ケル貿易、金融、産業及
交通等經濟上ノ問題ニ就キ協議ヲナシ相互ノ提携ヲ緊密ナラシム

日支經濟協議會（名稱未定）ハ右工作ヲ擔當ス

要約

日支經濟協議會ハ日支協定ニ基キ官民練達堪能ノ士ヲ以テ組織ス
而シテ本會ノ決議事項ハ其ノ性質ニ鑑ミ中央政府又ハ上海特別市
政府ニ於テ採擇シ之ヲ實行スルモノトス

日支經濟協議會ハ議長ヲ除キ日支人同數トス 議長ハ支那側トス
ニ思想、教育、宣傳、文化事業及警察ニ關シテハ日支間緊密ニ連絡
協力ス、之ヲ爲メ上海特別市政府ノ社會局、教育局及警察局ニ日

十六

本人連絡專員ヲ招聘ス

ニ特務工作ニ就テハ日支當事者ハ絶ヘス緊密ナル連絡ヲ保チ且協力
ス

四 支那側ハ上海特別市ノ對外交渉ニ就テハ絶ヘス日本側ト緊密ナル
連絡ヲ保チ且協力ス

五 支那側ハ上海租界工部局内日本人參事會員及幹部職員ノ増加ニ關
シ協力ス

六 上海特別市ハ其ノ新都市建設ノ爲メ日本人ノ技術顧問及技術員ヲ
招聘ス

要約

七 日支合辦事業ノ分野並ニ日支産業ノ生産及販路協定等經濟協力ニ
就テハ日支經濟協議會ノ意見ヲ充分考慮シ公正ナル基礎ニ於テ其
ノ準則ヲ定ムルモノトス

ハ上海居留ノ日本人ハ日本人協議會（名稱未定）ヲ組織シ市政府ニ
對シ日本人ノ居住營業ニ關スル意見ヲ具申シ市政府ハ之ニ對シ充
分ノ考慮ヲ拂フ

九日本軍駐屯ニ伴フ事項中上海ニ於ケル地方的處理ニ就テハ中央政
府ノ定ムル處ニ從ヒ上海特別市政府之ヲ處理ス 其他ノ地域ニ在
リテハ中央政府又ハ省政府ニ於テ之ヲ處理ス

十上海特別市ノ財源ニ就テハ中央政府ニ於テ充分考慮シ建設ニ支障
ナカラシムルコト

（備考）

日本ハ大阪市役所ノ社會局、教育局ニ支那人連絡專員ヲ招聘ス

秘密諒解事項（第六）

日本人顧問、職員招聘採用關係事項

一 支那中央政府ハ財政、經濟、自然科學ノ各技術顧問ヲ招聘スルコトヲ得

北支政務委員會ハ經濟技術顧問ヲ、縣政府以外ノ地方行政機關ハ自然科學技術顧問ヲ招聘スルコトヲ得

北支政務委員會ニハ連絡專員ヲ置ク

上海特別市政府ニハ社會局、警察局及教育局ニ連絡專員ヲ置ク

廈門特別市政府ニ於テハ技術顧問中一名ヲシテ連絡專員ヲ兼務セシム

（備考）

一 連絡專員ハ其ノ服務機關ト當該地方駐在ノ日本側機關トノ連

十八

絡任務ニ當リ一般行政ニハ參與セサルモノトス

二 連絡專員ハ特ニ獨立ノ機關ヲ設ケサルコト

三 連絡專員ハ簡任又ハ薦任トス

四 北支政務委員會連絡專員ハ八名ヲ限度トス

五 北支政務委員會連絡專員ハ必要ノ場合所屬ノ各省政府及各特

別市政府ニ出張シ服務スルコトヲ得

ニ 支那最高軍事機關ハ軍事顧問ヲ招聘スルコトヲ得

其ノ職權ハ支那一般國防軍事ノ施設及日支防共軍事協力事項ノ立

案ヲ輔佐スルニアリ

日支防共軍事協力事項ノ立案ヲ輔佐スル顧問ハ最高軍事機關ノ派

遣ニ依リ防共軍事上必要アル地點ニ於テ服務スルコトヲ得

第三國ノ軍事顧問ハ日支軍事協力事項ニ參與セシメス

支那軍隊及警察ノ教育機關ハ必要アル場合教授、教官ヲ招聘スル
コトヲ得

其ノ職權ハ教授及訓練ニ限ルモノニシテ行政ニ參與セス

支那軍隊ニハ外國人顧問、職員ヲ招聘セス 但シ北支ニ於ケル綏
靖部隊ハ此ノ限リニアラス

支那警察ニハ外國人顧問、職員ヲ招聘セス 但シ北京、天津、青
島、上海及厦門ノ各警察局ニ於ケル日本人職員任用ニ就テハ日支
別ニ協議ノ上決定ス

支那中央政府直屬機關ハ必要アル場合日本人教授、教官、海關吏
及専門技術官等ヲ任用スルコトヲ得

其地方行政機關及其ノ所屬機關ニハ外國人職員ヲ任用セス

但シ北支政務委員會直屬ノ重要經濟建設機關、上海及厦門兩特別

十九

要節

市ハ必要アル場合中央關係法令ニ從ヒ日本人専門技術官ヲ任用ス
ルコトヲ得

要節

前記各項ノ顧問ノ職權及服務規定ハ中央政府ニ於テ秘密瞭解事項
(第六)同(第八)ノ關係各項ニ基キ日支協議ノ上之ヲ定ム

前記各項ノ職員ハ總テ支那一般行政法規ノ支配ヲ受クルモノトス
大蒙古聯合自治政府ハ顧問職員ノ招聘ニ關シ適宜ノ措置ヲ爲スコト
ヲ得

但シ政治顧問招聘ニ關シテハ中央政府ニ報告スルモノトス

秘密諒解事項(第七)

主權尊重原則實行等ニ關スル中國側
要望ニ對スル回答關係事項

第一政 治

一 日支兩國政府ノ協議ニ關スル件

平定克復後ハ支那中央政府ニ政治顧問ヲ招聘スルコトナク日本政府力支那ニ
於テ支那政府ト協議ヲ要スル事項ハ支那駐在日本大使之ニ當ル
支那ハ日支善隣結合關係ヲ具現スル爲メ兩國ノ協力事項ニ關シ齟
齬遺漏ナキ様密ニ日本大使ト連絡スルコト

二 日本軍ト省政府、特別市政府、縣政府、普通市政府等トノ協力ニ
關スル件

支那ハ對日本軍一般商議及渉外事項處理ノ爲メ臨時的ニ各省政

要 協

要 件

一 各縣宣撫班ノ解消ニ關スル件

日支双方ノ努力ニ依リ事態ノ鎮靜ニ伴ヒ中央政府成立後成ルヘク
速力ニ之ヲ解消スルコト

第二軍 事

要 件

一 支那復歸軍隊ノ駐屯區域ニ關スル件

中央政府ニ復歸スル支那軍隊ニハ之カ便宜ヲ考慮シ日支協議ノ上
其ノ駐屯ノ爲メ地域ヲ移讓スルコト

解向ノ部
入ル

ニ第三國人軍事專門家等招聘ニ關スル件

要物

支那カ第三國人タル軍事專門家等ヲ招聘スル場合ニハ日支協力ノ精神ニ鑑ミ日本ト連絡スルコト

ニ兵器製造工場ニ技師任用ニ關スル件

要物

必要アル場合日本人及第三國人ノ專門家ヲ技師トシテ任用スルコトヲ得

能向部

但シ第三國人ノ場合ニハ第二項ノ趣旨ニ據ルコト

技師ノ資格ハ技術方面ニ限り各工場ノ人事行政及經理ニハ參加セサルコト

サルコト

第三 經濟

ニ軍管理工場、鐵山及商店ニ關スル件

取向部
入ル

目下日本軍ニ於テ管理中ノ公營、私營ノ工場、鐵山及商店ハ占領又ハ沒收セシモノニ非ス。敵性アルモノ並ニ軍事上ノ必要等已ムヲ得サル特殊事情アルモノノ外財産保護ノ措置トシテ管理シタルモノニ對シテハ速カニ日支新關係調整ノ原則ニ即シ合理的方法ニ依リ支那側ニ移管スルコト

其ノ細目ニ就テハ日支別途具體的ニ協議スルコト

ニ日支合辦事業ノ調整整理ニ關スル件

要物
入ル

日支合辦事業ニシテ固有資産ノ評價適正ヲ缺クモノ在ルニ於テハ日支間ニ對員ヲ設ケ再評價セシメ整理スヘキコト。又不當ト認めラルルモノアラハ日支協議ノ上之ヲ是正スルコト

（合弁会社ノ印）

要約

要約

三合弁事業ノ出資割合ニ關スル件

北支ノ國防上必要ナル特定事業ノ日本側出資割合ハ百分ノ五十五ヲ超過セサルコトトシ其ノ實行細目ハ日支別途協議スルコト

前項以外ノ合弁事業ノ日本側出資割合ハ百分ノ四十九ヲ超過セサルコト。但シ合弁起業ノ際已ムヲ得サル事情アル場合ニハ日

支協議ノ上必要ナル措置ヲナスモノトス

蒙疆ハ適宜ノ措置ヲナスコトヲ得

（備考）

第二項但書ノ場合ノ日本側出資割合ハ百分ノ五十トシ支那側ノ

出資金不足分ハ日本側ヨリ貸付ノ形式ニテ融通スルモノトス

四既成政府ノ辨シタル事項ニ關スル件

臨時維新兩政府ノ辨シタル事項ハ一應中央政府ニ於テ繼承スヘク

要約

第四財 政

支協議ノ上調整整理スルコト

若シ日支新關係調整ノ原則ニ反スルモノアルニ於テハ再審査シ日

要約

一稅收機關ニ關スル件

日本ハ支那ノ財政ノ獨立ヲ尊重ス

支那ノ各種稅收機關ニ就キ軍事上特異ノ狀態ヲ發生シアルモノニ

關シテハ速カニ之ヲ調整整理スルコト

ニ中央政府成立以前ニ於ケル上海海關收入及關稅剩餘ニ關スル件

橫濱正金銀行上海支店ニ保管シアル上海海關ノ關稅收入中ヨリ中

央政府成立前ニ借款形式ヲ以テ融通スルコト

新中央銀行成立以前ニ於ケル關稅剩餘ニ關シテハ前項ノ處理ト共

ニ融通ニ付充分考慮スルコト

要約

以上ノ融通金額ハ尠クモ四千萬元トシ尙別途協議ス但シ其ノ内
成ル可ク多額ヲ新中央銀行準備金ノ一部ニ充當シ中央政府ノ政費
ハ成ル可ク速カニ新法幣ニ依ル如ク努ムルコト

要約

ニ中央政府成立後關稅收入保管ニ關スル件

横濱正金銀行ハ現在ノ體關稅預託銀行タルヘキモ中央政府ノ收入
タルヘキ關稅剩餘ノ若干部分ニ付テハ中央政府ノ指定スル銀行ニ
預託換ヘスルコト

新中央銀行成立セハ關稅剩餘ハ之ヲ移讓ス、國庫代理設立セラル
レハ之ニ準シ別途協議スルコト

要約

四、外債及賠償金ノ基金保管ニ關スル件

横濱正金銀行ニ於テ既往ノ協定及慣習ニ據リ之ヲ保管スルコト

五、統稅ニ關スル件

要約

北支ニ於ケル統稅ニ付テハ別ニ定ムル所ニ準據スヘキモ其ノ他ノ
各省ノ統稅局ハ中央政府成立セハ財政部之ヲ接收シ稅收ハ國庫ニ
納ムルコト

要約

六、鹽稅ニ關スル件

中央政府成立セハ鹽務行政及鹽稅納稅辦法ニ付事變中生シタル特
殊事態ハ日支協議ノ上改訂セル事項ヲ除キ速カニ事變前ノ狀態ニ
恢復セラルヘキコト

第七、其ノ他

要約

一、長江開放ニ關スル件

日本側トシテハ之ニ關シ充分考慮シアリ

ニ京滬鐵道通行證首都停車場等ノ検査ニ關スル件

現地關係日支雙方責任者ヲ定メ速カニ協議ヲ開始スルコト

要約

秘密諒解事項（第八）

雜件

一 秘密諒解事項（第一）中第一ノ四ノ左記中（一）ニ關スル件

1 日本軍駐屯ニ伴フ事項ニ關スル處理トハ兵營、演習、移動、給養及軍需整備ニ關スル事項ナリ

2 日支防共及治安協力ニ關スル所要事項ノ處理トハ警備、配置、相互救援、軍隊相互ノ連絡、情報交換及宣傳等ニ關スル事項ナリ

3 其他日支軍事協力ニ關スル處理トハ顧問、職員ノ招聘採用、武器ノ供給及非常事態時ノ處置等ニ關スル事項ナリ

ニ 支那軍隊及警察隊建設ノ爲メ日本ハ日支協議ニ基キ武器ノ供給ヲナスコト 但シ支那ノ自製及第三國ヨリノ購入ヲ妨ケス

要所

三 支那ハ日本軍駐兵地域内ニ於ケル軍隊、警察隊等武装團體ノ配置並ニ軍事施設ニハ相互協調ノ爲メ慎重ナル注意ヲ拂フコト

四 秘密諒解事項（第六）ニ關スル件

要所

1 支那ハ日支新關係調整要綱ニ基ク日本人顧問、職員招聘採用ニ關スル秘密諒解事項ニ記載ノ各項ノ顧問、職員ヲ招聘採用スルコトヲ日本ニ要請シ日本ハ之ニ應スルモノトス

2 顧問ノ招聘ハ總テ支那側ノ實際上ノ必要ニ基キ自發的ニ之ヲ行フモノトス

3 顧問ハ一般行政ニ參與セス 其ノ主要任務ハ所在機關主管長官ノ諮詢ニ備ヘ其専門的意見ヲ提供スルニアリ

4 顧問ノ職務上處理スヘキ事務ハ支那ノ法令及通常ノ慣例ニ從ヒ

當該主管長官ノ指揮及監督ニ服従スヘキモノトス

四 秘密諒解事項（第一）ノ第四廈門ニ關スル件

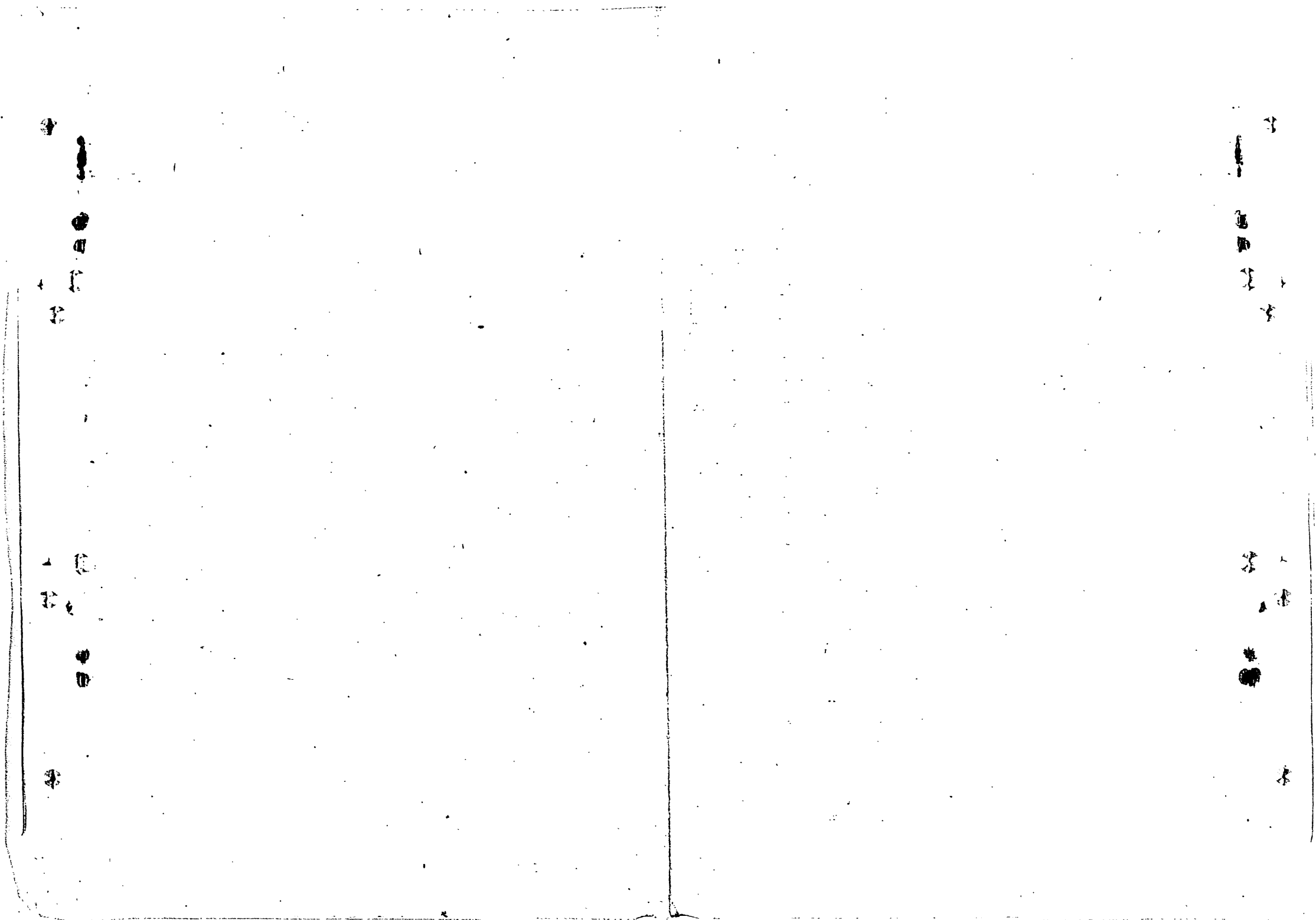
一 廈門特別市ノ區域ニ關シテハ支那ハ日本側ノ希望ヲ考慮スルモノトス

二 日支協力事項ハ概ネ海南島ニ準スルコト

六 秘密諒解事項（第一）ノ第五海南島及附近ノ諸島嶼ニ關スル件

一 海南島及附近諸島嶼ニ於ケル軍事協力ニ關スル事項トハ共通ノ治安維持上必要トスル間ノ駐屯配置、警備、軍事施設、教育訓練、移動及連絡、相互救護、給養、情報宣傳、武器軍需品供給、非常事態時ノ處置、顧問ノ招聘、軍機保護、其他協定セル事項等ニ關スル事項ナリ

二 海南島及附近諸島嶼ニ於ケル經濟提携ニ關スル事項トハ一部資源（主トシテ設謀、硫、磷ノ如キ農産資源）ニ關シ日支經濟提携ノ原則ニ準據シ日支協力シテ其ノ生産ヲ計リ支那ノ需要ヲ考慮シ日本ニ對シ利用上ノ便宜ヲ供與スルコト、並ニ國防資源（主トシテ鐵、錫、銅ノ如キ礦産資源）ニ關シ日支協力シテ開發シ支那ノ需要ヲ考慮シ日本ニ對シ利用上ノ特別ノ便宜ヲ供與スルコトヲ請フ

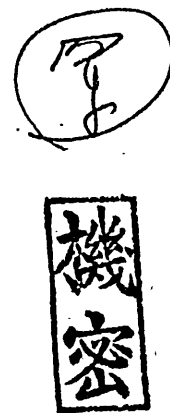


B-0049

02 6

二十部ノ内第10號

十二月三十一日印刷
梅機關寫



日支新關係調整ニ關スル協議書類 (別冊)
第一

日支新關係調整ニ關スル協議書類 (別冊) 目次

機密諒解事項

第一、防共駐兵地域關係事項

第二、北支鐵道問題關係事項

機密諒解事項（第一）

防共駐兵地域關係事項

一 防共駐兵ノ實施ハ蒙疆ノ外正太鐵道以北ノ山西省、北部河北省及膠濟鐵道沿線ノ地方トス 但シ艦船部隊ニ就テハ別ニ協定ス
二 防共駐兵期間ハ日支防共協定有効期間トス

（備考）

前記膠濟鐵道沿線中ニハ濟南及其隣接地區ヲ除クモノトス

機密諒解事項（第二）

北支鐵道問題關係事項

一 北支鐵道ハ國有國營トシ京山鐵道（支線京古鐵道ヲ含ム）京包鐵道及膠濟鐵道ハ中央政府主管部ト北支政務委員會トヨリ成ル北支鐵道管理委員會（名稱未定）之カ管理經營ニ當リ之ヲ華北交通會社ニ委託經營セシム 委託經營ノ年限ハ二十年トス

華北交通會社ハ日支合辦、支那法人トシ其ノ資本割當等ハ日支協力原則ニ基キ所要ノ調整ヲナス

二 華北交通會社ハ受託鐵道ノ收支狀態ヲ北支鐵道管理委員會ニ報告シ其ノ監督ヲ受ク

華北交通會社ハ受託鐵道ヨリ生スル利益金ヨリ所要ノ社内留保及

配當等ヲ控除セル剩餘ヲ先ツ借款元利支拂ニ充當シ更ニ剩餘アル
場合ハ之ヲ政府ニ上納ス

三 國營鐵道ト委託經營鐵道トハ協議ノ上相互通車ヲナシ以テ運輸ノ
圓滑ヲ圖ル

四 國營鐵道タル北支各鐵道ニ對スル日本竝ニ華北交通會社ノ投資及
融資ハ擔保附借款ノ形式ニ改ム

五 華北交通會社ノ經營スル以外ノ北支各鐵道管理局ハ別ニ協議スル
處ニ從ヒ職員中ニ日本人ヲ採用スルコト

六 各鐵道ノ管理局ノ職員ニハ成ル可ク華北交通會社ノ日支人現在員
ヲ採用シ以テ人心ノ動搖ヲ防クコト

七 軍事若クハ資源開發ノ爲メ必要ナル鐵道ノ建設及改良ハ日支人ヨ

リ成ル鐵道建設委員會（名稱未定）ニ於テ議決シ北支鐵道管理委
員會之ヲ採擇スルコト

但中央政府ノ計畫ニ基ク新鐵道建設ハ此ノ限リニアラサルモ前項
ノ建設改良計畫トノ摩擦ヲ避クルモノトス

八 軍事輸送及物資輸送ヲ適正圓滑ナラシムル爲日支人ヨリ成ル運輸
連絡委員會（名稱未定）ヲ設置スルコト 同蒲、正太及滄石（豫
定）各鐵道ノ連絡ニ關シテハ特ニ右委員會内ニ特別委員會ヲ設置
スルコト

委員會ノ議決事項ハ關係機關ニ於テ之ヲ採擇スルコト

九 前各號ノ經營方式ノ實行ニ就テハ日支間ニ細目協定ヲ締結スルコ
ト

(備考)

第五項ニ基キ當分ノ間職員中ニ採用スル日本人左ノ如シ

一、同蒲及正太各鐵道管理局

ノ、運輸主任、會計主任（日支人併用）及會計補助者各一名トシ

會計主任ノ任用ハ該鐵道ニ對スル借款ノ存在スル期間トス

2、運輸及工務人員各約三名

ニ、津浦及京漢各鐵道管理局

運輸、工務及會計人員各約三名

機密

(別冊第二)

南支沿岸特定島嶼地點ニ關聯スル軍事機密了解事項(第三)

支那海ノ交通路ヲ維持シ其ノ安全ヲ確保スルコトハ日支兩國共通ノ

利益ナルコトヲ認ムルニ依リ

日支兩國ハ互ニ軍事上ノ協力ヲナス爲

メ日本ハ前記目的達成ニ必要ナル中國ノ軍事施設並ニ中國海軍ノ建

設ニ協力スルコト

別ニ協定スル地點島嶼ニ於ケル日本ノ軍事施設ニ關シテハ別ニ日

支専門委員會ヲ設置シ之カ管理又ハ使用等具體的事項ニ付協議ノ

上定ムルコト

前項措置ノ如何ニ拘ラス中國ハ日支兩國又ハ其ノ孰レカノ一方國

カ第三國ヨリ戰爭又ハ國際的事變ノ脅威ヲ受ケ若シクハ之ト交戦

海軍施設と
陸軍施設と
陸軍施設と
陸軍施設と
陸軍施設と
陸軍施設と
陸軍施設と
陸軍施設と
陸軍施設と
陸軍施設と

本件が決定と
見るとよき
足らぬと
果てしなく
かつと
印
名

状態ニ入ル場合日本ノ要請スル時機ニ於テ前諸項ノ軍事施設ヲ支

障ナク日本ノ作戦用途ニ使用又ハ維持セシメ得ル爲必要ナル措置

ヲ執ルコト

日支夫々ノ軍事施設ハ日支別ニ協議スル所ニ基キ相互ニ使用シ得

ルコト

日本ハ前諸事項地方ニ於テ別ニ協定スル期間其ノ艦船部隊ヲ維持

シ得ルコト

(終)

朝鮮半島

日本側提案要項

- 一、東亞新秩序建設ノ共同目標ニ關スル件
- 二、主權及領土ノ尊重並ニ善隣友好互助敦睦ニ關スル件
- 三、滿洲國ノ承認措置ニ關スル件
- 四、好誼破壞ノ措置及原因ノ撤廢禁絶ニ關スル件
- 五、文化協力ニ關スル件
- 六、共同防共ニ關スル件
- 七、防共駐兵ニ關スル件
- 八、一般經濟提携ニ關スル件
- 九、資源ノ開發利用ニ關スル件

極秘

通商ノ振興及物資需給ノ合理化ニ關スル件
産業、金融、交通、通信等ノ復興、發達ニ付テノ協力ニ關スル件

七、租界還付及治外法權撤廢並ニ内地開放ニ關スル件
八、事變繼續中ノ特殊事態及其ノ調整並ニ戰爭目的完遂ニ對スル協力ニ關スル件

九、既成ノ政權ノ辨ジタル事項ノ承繼及其ノ調整ニ關スル件
一〇、共通ノ治安維持及之ヲ必要トスル間ノ駐兵地域等並ニ撤兵ニ關スル件

一一、艦船部隊ノ駐留ニ關スル件

一二、日本國臣民ノ蒙リタル權利利益ノ損害補償並ニ中華民國難民ノ

B-0049

救済ニ關スル件

一 外交上ノ相互提携ニ關スル件

一 日本人顧問及職員ノ招聘、採用ニ關スル件

一 鐵道、航空、通信、主要港灣及水路ニ付テノ軍事上ノ必要事項

處理ニ關スル件

一 華北、蒙疆、海南島附近及厦門ニ於ケル行政關係ノ調整ニ關スル件

上海ニ於ケル協力ニ關スル件

B-0049

別添第三号

基本條約要綱案

前文（東亞新秩序建設ノ共同目標ニ關スル件）

大日本帝國政府及

中華民國國民政府ハ

兩國相互ニ其ノ本然ノ特質ヲ尊重シ東亞ニ於ケル新秩序建設ノ共同ノ理想ノ下ニ善隣トシテ緊密ニ相提携シ以テ東亞ニ於テ道義ニ基ク恒久的の平和ヲ確立シ之ヲ核心トシテ世界全般ノ平和ニ貢獻センコトヲ希望シ

之ガ爲兩國間ノ關係ヲ律スル基本的原則ヲ訂立セント欲シ左ノ通協定セリ

1

極秘

第一條

（主權及領土ノ尊重並ニ善隣友好互助教睦ニ關スル件、好誼破壞ノ措置及原因ヲ撤廢禁絶ニ關スル件）

兩國政府ハ兩國間ニ永久ニ善隣友好ノ關係ヲ維持スル爲相互ニ其ノ主權及領土ヲ尊重シツツ政治、經濟、文化等各般ニ亘リ互助教睦ノ手段ヲ講ズベシ

兩國政府ハ政治、外交、教育、宣傳、交易等諸般ニ亘リ相互ニ兩國間ノ好誼ヲ破壞スルガ如キ措置及原因ヲ撤廢シ且將來ニ亘リ之ヲ禁絶スルコトヲ約ス

第二條（文化協力ニ關スル件）

兩國政府ハ文化ノ融合、創造及發展ニ付緊密ニ協力スベシ

2

第三條（共同防共ニ關スル件、防共駐兵ニ關スル件）

B-0049

兩國政府ハ兩國ノ治安及福祉ヲ危殆ナラシムル一切ノ共產主義的破壊工作ニ對シ共同シテ防衛ニ當ルコトヲ約ス
兩國政府ハ前項ノ目的ヲ達成スル爲各其ノ領域内ニ於ケル共產分子及組織ヲ芟除スルト共ニ防共ニ關スル情報、宣傳等ニ付緊密ニ協力スベシ

一、
現地
ヨリニ
出ス

日本國ハ兩國間ニ別ニ協議決定セラルル所ニ從ヒ兩國共同シテ防共ヲ實行スル爲所要ノ軍隊ヲ蒙疆及華北ノ一定地域ニ駐屯セシムベシ

第四條 (共通ノ治安維持ニ關スル件)

兩國政府ハ兩國間ニ別ニ協議決定セラルル所ニ從ヒ共通ノ治安維持ニ付緊密ニ協力スベシ

推定
ヨリニ
出ス

第一、
第二、
第三、
第四、
第五、
第六、
第七、
第八、
第九、
第十、
第十一、
第十二、
第十三、
第十四、
第十五、
第十六、
第十七、
第十八、
第十九、
第二十、
第二十一、
第二十二、
第二十三、
第二十四、
第二十五、
第二十六、
第二十七、
第二十八、
第二十九、
第三十、
第三十一、
第三十二、
第三十三、
第三十四、
第三十五、
第三十六、
第三十七、
第三十八、
第三十九、
第四十、
第四十一、
第四十二、
第四十三、
第四十四、
第四十五、
第四十六、
第四十七、
第四十八、
第四十九、
第五十、
第五十一、
第五十二、
第五十三、
第五十四、
第五十五、
第五十六、
第五十七、
第五十八、
第五十九、
第六十、
第六十一、
第六十二、
第六十三、
第六十四、
第六十五、
第六十六、
第六十七、
第六十八、
第六十九、
第七十、
第七十一、
第七十二、
第七十三、
第七十四、
第七十五、
第七十六、
第七十七、
第七十八、
第七十九、
第八十、
第八十一、
第八十二、
第八十三、
第八十四、
第八十五、
第八十六、
第八十七、
第八十八、
第八十九、
第九十、
第九十一、
第九十二、
第九十三、
第九十四、
第九十五、
第九十六、
第九十七、
第九十八、
第九十九、
第一百、
第一百零一、
第一百零二、
第一百零三、
第一百零四、
第一百零五、
第一百零六、
第一百零七、
第一百零八、
第一百零九、
第一百一十、
第一百一十一、
第一百一十二、
第一百一十三、
第一百一十四、
第一百一十五、
第一百一十六、
第一百一十七、
第一百一十八、
第一百一十九、
第一百二十、
第一百二十一、
第一百二十二、
第一百二十三、
第一百二十四、
第一百二十五、
第一百二十六、
第一百二十七、
第一百二十八、
第一百二十九、
第一百三十、
第一百三十一、
第一百三十二、
第一百三十三、
第一百三十四、
第一百三十五、
第一百三十六、
第一百三十七、
第一百三十八、
第一百三十九、
第一百四十、
第一百四十一、
第一百四十二、
第一百四十三、
第一百四十四、
第一百四十五、
第一百四十六、
第一百四十七、
第一百四十八、
第一百四十九、
第一百五十、
第一百五十一、
第一百五十二、
第一百五十三、
第一百五十四、
第一百五十五、
第一百五十六、
第一百五十七、
第一百五十八、
第一百五十九、
第一百六十、
第一百六十一、
第一百六十二、
第一百六十三、
第一百六十四、
第一百六十五、
第一百六十六、
第一百六十七、
第一百六十八、
第一百六十九、
第一百七十、
第一百七十一、
第一百七十二、
第一百七十三、
第一百七十四、
第一百七十五、
第一百七十六、
第一百七十七、
第一百七十八、
第一百七十九、
第一百八十、
第一百八十一、
第一百八十二、
第一百八十三、
第一百八十四、
第一百八十五、
第一百八十六、
第一百八十七、
第一百八十八、
第一百八十九、
第一百九十、
第一百九十一、
第一百九十二、
第一百九十三、
第一百九十四、
第一百九十五、
第一百九十六、
第一百九十七、
第一百九十八、
第一百九十九、
第二百

中華民國政府ハ兩國間ニ別ニ協定セラルル所ニ從ヒ自國領域ヲ日本國臣民ノ居住營業ノ爲開放スベシ

別冊
極秘

日本側提案ノ説明振

扱本日ハ「日本側提案要項」ヲ持参セリ

前回ノ會議ニ於テ阿部大使ヨリ今次交渉ニ對スル我方ノ一般の見解ヲ述ベラレタルガ其ノ中ニ於テ今次交渉ノ實質的基礎ハ客年末ノ内約ニ之ヲ求メ右内約ノ線ニ沿ヒテ交渉ヲ行フヲ當然トスベク唯右内約事項ハ其ノ内容複雑多岐ニ亘リ之ガ全部ヲ此ノ際直ニ條約化スルハ今次條約締結ノ趣旨ニモ願ミ必シモ事宜ニ適セズ寧ロ内約事項中現在ノ段階ニ於テ特ニ條約化スルヲ適當トスル事項ノミヲ撰譯シ之ニ夫々適當ノ形式ヲ與ヘ以テ今次條約ヲ構成スルヲ適當ト認ムル旨及爾餘ノ事項ニ付テハ逐次將來ノ協定ニ讓ルベク或ハ協定ヲ俟タズシテ事實ノ上ニ於テ既ニ實現ヲ見又ハ將來ノ實現ヲ期シ得ルモノ亦

存スベキ旨ノ見解ヲ述ベラレタリ

本日持参セル「日本側提案要項」ハ前述ノ趣旨ニ基キ新國交調整ノ最初ノ條約タル今次條約中ニ掲ゲ置クヲ適當ト認メタル事項ヲ内約事項中ヨリ抽出シテ掲記セルモノニ外ナラズ爾餘ノ事項ニ付如何ニ取扱フヤニ付テハ前述大使ノ言ニ依ルモ明カナル通我方ニ於テ之ヲ有耶無耶ニ辯リ去ラントスルガ如キ意圖ハ寸毫モナク只之等ヲ條約化スルニ當リ緩急遲速ノ順序ヲ附スルヲ適當トストノ意ニ外ナラズ右提案要項ニ掲グル十六項ハ固ヨリ日本側ニ於テ之ヲ重要視スルモノナルモ必シモ一方的ニ日本側ノ要求事項ノミヲ規定スベシトノ趣旨ニ非ズ貴方ノ主張ヲモオ聞キ充分納得ノ行ク迄相互ノ議ヲ盡シタル上適當ノ條約規定ニ纏メ上ゲタキ考ヘナリ

右十六項ヲ分チテ如何ナル形式ノ文書ニ纏ヒ規定スベキヤノ點ニ關シテハ日本側トシテ一ノ腹案ヲ有ス即チ概言スレバ日支間ノ恒久的關係ヲ律スベキ基本的原則の事項ヲ基本條約ニ規定シ稍過渡的ノ意義ヲ有スル重要事項ヲ附屬議定書ニ盛リ同ジク重要事項ナルモ此ノ際發表スルヲ適當トセザル事項ハ之ヲ附屬秘密協定ノ内容ト爲サントスルモノナリ

尙滿洲國ノ承認措置ニ關シテハ日、華、滿三國ノ共同宣言ノ形式ヲ以テ之ヲ行フノ案ヲ有スルモ同國ノ承認ヲ爲スベキ當事者ハ貴國ナルヲ以テ貴方ニモオ考ヘアルベク後日ノ會談ニ於テ研究スルコトト致度シ此ノ外商議ノ結果前記三文書ノ何レニモ包含セシムルヲ適當トセズトノ結論ニ到達スベキ事項モ存スベク又交渉ノ過程ニ於テ生

ズベキ派生的事項モ存スベク之等ハ御相談ノ上交換公文ナリ議事録ナリノ適當ノ文書ニ記載スルコトトセバ可ナルベシ要スルニ交渉ノ當初ヨリ文書ノ種類範圍ヲ確定シ置クノ必要モナキコトナレバ我方案ニ依ル前記三文書ハ概略ノ分類ニシテ相當裕リノ存スルモノト御承知置相成度

先ヅ順序トシテ本日ハ基本條約ニ關スル日本側要綱案ヲ持參セルヲ以テ之ヲモ同時ニ御手交致スベシ次回會談迄ニ日本側提案要項及基本條約要綱案ヲ研究セラレ貴方ノ御意見ヲ承ルコトト致度シ唯茲ニ一言附加シタキハ右日本側提案要項及基本條約要綱案ト客年末內約トノ内容及配列ノ關係ナルガ右提案要項及基本條約要綱案ハ內約ニ掲ゲタル事項ヲ條約技術上適宜配列ノ順序ヲ組ミ變ヘタルニ過ギズ

シテ此ノ間内約ノ趣旨ヲ改變セントスルモノニ非ザルコト之ナリ尙
以上述べタル點ニ付御質問モアラバ本日此ノ席ニテ伺ヒ致スモ差
支ナシ

B-0049

極欲

附屬議定書要綱案

昭和十五、七、十三

第一條 (事變繼續中ノ特殊事態及其ノ調整並ニ戰爭目的完遂ニ對スル協力ニ關スル件)

中華民國政府ハ日本國ガ中華民國領域内ニ於テ現ニ遂行シツツアル戦争行為ヲ繼續スル期間中右戦争行為遂行ニ伴フ特殊事態ノ存在スルコト及日本國ガ右戦争行為ノ目的達成上必要ナル措置ヲ執ルコトヲ諒解シ右目的完遂ニ付協力スルコトヲ終ス

前記特殊事態ハ戦争行爲繼續中ト雖モ前記戦争行爲ノ目的達成上
支障ナキ限り情勢ノ推移ニ應シ條約及附屬文書ノ趣旨ニ準據シテ
調整セラルベキモノトス

第二條 (既成ノ政權ノ辦ジタル事項ノ承繼及其ノ調整ニ關スル件)

中華民國政府ハ從前中華民國臨時政府、中華民國維新政府其ノ他
ノ地方政權ノ辦ジタル事項ヲ其ノ儘繼承スベシ

前記事項ハ專断之ヲ許スニ件ヒ兩國間ノ協議ニ依リ條約及附屬文
書ノ趣旨ニ準據シテ調整セラルベキモノトス

第三條 (撤兵ニ關スル件)

兩國間ノ全般的平和克復シ戰爭狀態終了シタルトキハ日本國軍隊
ハ約定ニ基キ駐屯スルモノヲ除キ撤去ヲ開始シ治安確立後二年以
内ニ之ヲ完了スベク中華民國政府ハ本期間ニ於テ治安ノ確立ヲ保
障スルモノトス

昔ノ時安部折ニ協力スル日本國軍隊ノ駐屯地域其他
兩國間ノ内國領土ノ別ニ協定セラルルモノニ據ル

第四條 (日本國臣民ノ蒙リタル權利利益ノ損害補償並ニ中華民國
難民ノ救済ニ關スル件)

中華民國政府ハ事變發生以來中華民國ニ於テ事變ニ因リ日本國臣
民ノ蒙リタル權利利益ノ損害ヲ補償スベシ
日本國政府ハ事變ノ爲生ジタル中華民國難民ノ救済ニ付中華民國
政府ニ協カスベシ

第六條

兩國政府ハ長短相補ニ有無相通スルノ趣
旨ニ基キ且平等互惠ノ精神ニ依リ兩國間ノ
緊密ナル經濟提携ヲ行フベシ（原文）

中華民國政府ハ日本國及日本國臣民ト協
カミテ華北（河北省山東省山西省）及内蒙ニ
於ケル國防上必要ナル特定埋藏資源ヲ開

電信案

在中華民國大日本大使館

發シ且ツ中華民國國防資源ノ自給ヲ妨ゲ
ザル範圍内ニ於テ日本國及日本國臣民ニ對
シ右資源ノ利用上充分ナル便宜ヲ提供スベシ
兩國政府ハ一般通商ヲ振興シ及兩國間ノ物
資需給ヲ便宜且合理的ナラシムル為必要ナル
措置ヲ講スベシ（原文）

中華民國政府ハ産業金融交通通信等

電信案

在中華民國大日本大使館

B-0049

B-0049

電信案

在中華民國大日本大使館

ノ復興及發達ノ爲資本及技術上ノ協助ヲ
必要トスル時ニハ日本國政府ハ中華人民國ニ對
シ充分ナル協助ヲ提供スベシ

第六條 兩國政府善於長短相補有無相還之旨，且依平等互惠之精神，謀兩國間經濟之緊密提携（原文）

國民政府允與帝國政府及其臣民協力開發華北（河北山東山西）及內蒙國防上所必要之特定區域資源，且於不妨礙中國國防資源之自給範圍內，允予帝國政府及其臣民以利用上之充分便利

兩國政府為振興一途通商及使兩國間物資輸給便利而合理起見，應請求必要之特權（原文）

國民政府為產業金融交通通信等之復興及發達而需要資本及技術上之協助時，帝國政府允予以充分之協助

第六條

兩國政府基於長短相補有無相通之旨趣、且依平等互惠之原則、實行兩國間經濟的緊密提攜。(原文修正二字)

中華民國政府關於華北及蒙疆之特定資源、尤其國防上必要之埋藏資源、允與日本國協力開發之。關於其他地域國防上必要之特定資源之開發、允給日本國以必要之便利。

關於上述資源之利用、中華民國政府在考慮其本國需要之後、積極給與日本國以充分之便利。

兩國政府為振興一般通商及使兩國間物資需給便利而合理起見、應講求必要之措置、兩國政府對於增進湯子江下遊地域之通商交易及日本國與華北蒙疆間物資需給之合理化、尤應行緊密之協力(原文關於復興及發達中華民國之產業、金融、交通、通信、日本國政府根據其與中華民國政府之協議、予中華民國以資本及技術之協力。

基本條約要綱案第三條修正案

第三條 (共同防共ニ關スル件、防共駐兵ニ關スル件)

兩國政府ハ兩國ノ治安及福祉ヲ危殆ナラシムル一切ノ共產主義的破壊工作ニ對シ共同シテ防衛ニ當ルコトヲ約ス(原案通)

兩國政府ハ前項ノ目的ヲ達成スル爲各其ノ領域内ニ於ケル共產分子及組織ヲ芟除スルト共ニ防共ニ關スル情報、宣傳等ニ付緊密ニ協力スベシ(原案通)

防共ニ關スル兩國ノ協力ヲ必要トスル期間中兩國間ニ別ニ協議決定セラルル所ニ從ヒ日本國ハ所要ノ軍隊ヲ蒙疆及華北ノ一定地域ニ駐屯セシムベシ

極秘

基本條約要綱案第四條修正案

昭和十五、七、二十四

第四條 (共通ノ治安維持ニ關スル件)

兩國政府ハ中華民國領域内ニ於ケル治安ノ未ダ確立セザル前ニ在リテハ別ニ協議決定セラルル所ニ從ヒ共通ノ治安維持ニ付緊密ニ協力スルコトヲ約ス

一應提出

案ニ依リテトテスル

極秘

附屬議定書要綱案第一條修正案

昭和十五、七、二十四

第一條 (事變繼續中ノ特殊事態及其ノ調整並ニ戰爭目的完遂ニ對スル協力ニ關スル件)

中華民國政府ハ日本國ガ中華民國領域内ニ於テ現ニ遂行シツツアル戰爭行為ヲ繼續スル期間中右戰爭行為遂行ニ伴フ特殊事態ノ存在スルコト及日本國ガ右戰爭行為ノ目的達成上必要ナル措置ヲ執ルコトヲ諒解シ之ニ應ジ必要ナル措置ヲ講ズルモノトス

前記特殊事態ハ戰爭行為繼續中ト雖モ前記戰爭行為ノ目的達成上支障ヲキ限リ情勢ノ推移ニ應ジ條約及附屬文書ノ趣旨ニ準據シテ調整セラルベキモノトス

附屬議定書要綱案第三條修正案

昭和十五、七、二十四

第三條 (共通ノ治安維持ヲ必要トスル間ノ駐兵地域等及撤兵ニ關スル件)

兩國間ノ全般的平和克復シ戰爭狀態終了シタルトキハ日本國軍隊ハ約定ニ基キ駐屯スルモノヲ除キ撤去ヲ開始シ治安確立後二年以内ニ之ヲ完了スベク中華民國政府ハ本期間ニ於テ治安ノ確立ヲ保障スルモノトス

共通ノ治安維持ヲ必要トスル間ニ於ケル日本國軍隊ノ駐屯地域其ノ他ニ關シテハ兩國間ニ別ニ協議決定セラルル所ニ據ル

極秘

附屬秘密協定要綱案
昭十五、七、二十九

第一條 (外交上ノ相互提携ニ關スル件)

兩國政府ハ兩國共通ノ利益ヲ増進シ東亞ニ於ケル平和ヲ確保スル
爲相互提携ヲ基調トスル外交ヲ行ヒ之ニ反スルガ如キ一切ノ措置
ヲ第三國トノ關係ニ於テ執ラザルコトヲ約ス

第二條 (艦船部隊ノ駐留ニ關聯スル軍事上ノ協力ニ關スル件)

兩國政府ハ兩國共通ノ利益ノ爲支那海ニ於ケル交通路ノ安全ヲ確
保スルコトヲ必要ト認メ之ガ爲華南沿岸特定地點島嶼ニ於テ軍事
上緊密ニ協力ヲ行フコトヲ約ス

B-0049

第三條 (鐵道、航空、通信、主要港灣及水路ニ付テノ軍事上ノ必要事項處理ニ關スル件)

中華民國政府ハ中華民國領域内ニ駐屯スル日本國軍隊ノ駐屯地域及之ニ關聯スル地域ニ存在スル鐵道、航空、通信、主要港灣及水路等ニ付兩國間ニ別ニ協議決定セラルル所ニ從ヒ日本國ノ軍事上ノ必要事項ニ關シ其ノ要求ニ應ズルコトヲ約ス但シ平時ニ於ケル中華民國ノ行政權及管理權ハ尊重セラルベキモツトス
中華民國政府ハ前項ノ日本國軍隊ニ對シ駐屯ニ必要ナル諸般ノ便宜ヲ供與スルコトヲ約ス

第四條 (日本人顧問及職員ノ招聘、採用ニ關スル件)

中華民國政府ハ日本國政府トノ間ニ別ニ協議決定セラルル所ニ從ヒ日華協力事項ニ關シ日本人顧問及職員ヲ招聘シ又ハ採用スベシ

別件手

第五條 別 案

其手

日本國ハ従前ノ慣行ニ基キ又ハ兩國共通ノ利益ヲ確保スル爲兩國
間ニ別ニ協議決定セラルル所ニ從ヒ其ノ艦船部隊ヲ中華民國領域
内ニ於ケル特定地區ニ駐留セシムルコトヲ得

B-0049

別添第一号

基本條約要綱案第四條修正案 昭和十五、七、二十九

第四條 (共通ノ治安維持ニ關スル件)

兩國政府ハ中華民國ニ派遣セラレタル日本國軍隊ガ別ニ定ムル所ニ依リ撤去ヲ完了スルニ至ル迄共通ノ治安維持ニ付緊密ニ協力スルコトヲ約ス

共通ノ治安維持ヲ必要トスル間ニ於ケル日本國軍隊ノ駐屯地域其ノ他ニ關シテハ兩國間ニ別ニ協議決定セラルル所ニ據ル

極秘

昭和十五年七月二十九日

別添第一号

附屬議定書要綱案第二條修正案

昭和十五、七、二十九

第二條 中華民國政府ハ從前中華民國臨時政府、中華民國維新政府等ノ辦ジタル事項ヲ差當リ繼承スベシ

前記事項ハ事關之ヲ許スニ伴ヒ兩國間ノ協議ニ依リ條約及附屬文書ノ趣旨ニ準據シテ調整セラルベキモノトス

極秘

昭和十五年七月二十九日

二五

基本條約要綱案等五條修正案

昭、十五、七、三十一提出

第五條 (艦船部隊ノ駐留ニ關スル件)

中華民國政府ハ日本國ガ從前ノ慣行ニ基キ又ハ兩國共通ノ利益ヲ
確保スル爲所要期間中兩國間ニ別ニ協議決定セラルル所ニ從ヒ其
ノ艦船部隊ヲ中華民國領域内ニ於ケル特定地域ニ駐留セシムルコ
トヲ承認スベシ

B-0049

支那軍の侵入

五十部ノ内第 17 號

七月三十一日現在（第八回正式會議）ノ交渉段階ニ於ケル

基本條約要綱案及附屬議定書要綱案

極秘

陸、十五、八、一 秘書局

備考

○印ハ決定セル條項、×印ハ未決條項

┃傍線ヲ施シタルハ日本側原案トノ相違個所

欄外ノ數字ハ決定ヲ見タル期日、括弧内ハ會議ノ回次

B-0049

基本條約要綱案

七九(三) ○前文(東亞新秩序建設ノ共同目標ニ關スル件)

大日本帝國政府及

中華民國國民政府ハ

兩國相互ニ其ノ本然ノ特質ヲ尊重シ東亞ニ於ケル新秩序建設ノ共同ノ理想ノ下ニ善隣トシテ緊密ニ相提携シ以テ東亞ニ於テ道義ニ基ク恒久的の平和ヲ確立シ之ヲ核心トシテ世界全般ノ平和ニ貢獻セシコトヲ希望シ

之ガ爲兩國間ノ關係ヲ律スル基本的原則ヲ訂立セント欲シ左ノ通協定セリ

第一條 (主權及領土ノ尊重並ニ善隣友好互助敦睦ニ關スル件、好誼破壞ノ措置及原因ノ撤廢禁絶ニ關スル件)

七九(三) ○兩國政府ハ兩國間ニ永久ニ善隣友好ノ關係ヲ維持スル爲相互ニ

其ノ主權及領土ヲ尊重シツツ政治、經濟、文化等各般ニ亘リ互助敦睦ノ手段ヲ講ズベシ

七九(三) ○兩國政府ハ政治、外交、教育、宣傳、交易等諸般ニ亘リ相互ニ兩國間ノ好誼ヲ破壞スルガ如キ措置及原因ヲ撤廢シ且將來ニ亘リ之ヲ禁絶スルコトヲ約ス

第二條 (文化協力ニ關スル件)

第九(三) ○兩國政府ハ文化ノ融合、創造及發展ニ付緊密ニ協力スベシ

第三條 (共同防共ニ關スル件、防共駐兵ニ關スル件)

第九(六)(七) ○兩國政府ハ兩國ノ安寧及福祉ヲ危殆ナラシムル一切ノ共產主義

的破壊工作ニ對シ共同シテ防衛ニ當ルコトヲ約ス

第九(三) ○兩國政府ハ前項ノ目的ヲ達成スル爲各其ノ領域内ニ於ケル共產

分子及組織ヲ芟除スルト共ニ防共ニ關スル情報、宣傳等ニ付緊

密ニ協力スベシ

第九(六) ○防共ニ關スル兩國ノ協力ヲ必要トスル期間中兩國間ニ別ニ協議

決定セラルル所ニ從ヒ日本國ハ所要ノ軍隊ヲ鐵道及華北ノ一定

地域ニ駐屯セシムベシ

第四條 (共通ノ治安維持ニ關スル件)

セ三一(四)

○兩國政府ハ中華民國ニ派遣セラレタル日本國軍隊ガ別ニ定ムル所ニ依リ撤去ヲ完了スルニ至ル迄共通ノ治安維持ニ付緊密ニ協カスルコトヲ約ス

セ三一(八)

○共通ノ治安維持ヲ必要トスル間ニ於ケル日本國軍隊ノ駐屯地域其ノ他ニ關シテハ兩國間ニ別ニ協議決定セラルル所ニ據ル

(註、本條ニ關聯スル秘密協定ノ條項ノ決定振如何ニ依リ日本側ハ本條ヲ再ビ論議スルコトアリ得ベキ旨留保ス)

○協定ハ
○撤去ハ
○撤去ハ
○撤去ハ

○撤去ハ
○撤去ハ
○撤去ハ
○撤去ハ

第五條 (艦船部隊ノ駐留ニ關スル件)

セ三一(八)

○中華民國政府ハ日本國ガ従前ノ慣例ニ基キ又ハ兩國共通ノ利益ヲ確保スル爲所要期間中兩國間ニ別ニ協議決定セラルル所ニ從ヒ其ノ艦船部隊ヲ中華民國領域内ニ於ケル特定地域ニ駐留セシメ得ルコトヲ承認スベシ

(註、本條ニ關聯スル秘密協定ノ條項ノ決定振如何ニ依リテハ日本側ハ再ビ本條ヲ論議スルコトアリ得ベキ旨留保ス)

一、撤去ハ
二、撤去ハ

第六條 (一般經濟提携ニ關スル件、資源ノ開發利用ニ關スル件、通商ノ復興及物資需給ノ合理化ニ關スル件、産業、金融、交通、通信等ノ復興、發達ニ付テノ協力ニ關スル件)

セニ二六(一) ○兩國政府ハ長短相補ヒ有無相通ズルノ趣旨ニ基キ且平等互惠ノ

原則ニ依リ兩國間ノ緊密ナル經濟提携ヲ行フベシ

× 中華民國政府ハ華北及蒙疆並ニ海南島及其ノ附近ノ島嶼ニ於ケ

ル特定資源就中國防上必要ナル埋藏資源ニ關シ日本國及日本國

臣民ト緊密ニ協力シテ之ヲ開發スベシ中華民國政府ハ其ノ他ノ

地域ニ於ケル國防上必要ナル特定資源ノ開發ニ關シ日本國及日

本國臣民ニ對シ必要ナル便宜ヲ提供スベシ

セニ二六(七) ○前項ノ資源ノ利用ニ關シテハ中華民國ノ需要ヲ考慮シ中華民國

政府ハ日本國及日本國臣民ニ對シ積極的ニ充分ナル便宜ヲ提供

スルモノトス

セニ二六(五) ○兩國政府ハ一般通商ヲ振興シ及兩國間ノ物資需給ヲ便宜且合理

的ナラシムル爲必要ナル措置ヲ講ズベシ兩國政府ハ揚子江下流

地域ニ於ケル通商交易ノ増進並ニ日本國ト華北及蒙疆トノ間ニ

於ケル物資需給ノ合理化ニ付テハ特ニ緊密ナル協力ヲ行フベシ

セニ二六(七) ○日本國政府ハ中華民國ニ於ケル産業金融交通通信等ノ復興發達

ニ付兩國間ノ協議ニ依リ中華民國ニ對シ必要ナル援助乃至協力

ヲ爲スベシ

(註、中國側ハ第二項中「並ニ海南島及其ノ附近ノ島嶼」ノ削

除方ヲ主張シ保留)

第七條 (租界還付及治外法權撤廢竝ニ内地開放ニ關スル件)

七一(八) ○本條約ニ基ク日華新關係ノ發展ニ照應シ日本國政府ハ中華民國ニ於テ日本國ノ有スル治外法權ヲ撤廢シ及其ノ租界ヲ還付スベク中華民國政府ハ自國領域ヲ日本國臣民ノ居住營業ノ爲開放スベシ

附屬議定書要綱案

第一條 (事變繼續中ノ特殊事態及其ノ調整竝ニ戰爭目的完遂ニ對スル協力ニ關スル件)

七一(九) ○中華民國政府ハ日本國ガ中華民國領域内ニ於テ現ニ遂行シツツアル戰爭行為ヲ繼續スル期間中右戰爭行為遂行ニ伴フ特殊事態ノ存在スルコト及日本國ガ右戰爭行為ノ目的達成上必要ナル措置ヲ執ルコトヲ諒解シ之ニ應ジ必要ナル措置ヲ講ズルモノトス

×前記特殊事態ハ戰爭行為繼續中ト雖モ前記戰爭行為ノ目的達成上支障ナキ限り情勢ノ推移ニ應ジ條約及附屬文書ノ趣旨ニ準據シテ調整セラルベキモノトス

(註、中國側ハ第二項ノ調整ノ規定中ニ「努メテ必ズ」ノ意味ヲ挿入シタキ旨主張シ未決定、日本側ハ日本文ハ原案照トシ

協力、事變繼續中

中國側ニテ漢譯ノ際翻譯技術ノ問題トシテ善處方ヲ主張ス

第二條 (既成ノ政權ノ辦ジタル事項ノ承繼及其ノ調整ニ關スル件)

× 中華民國政府ハ從前中華民國臨時政府、中華民國維新政府等ノ辦

ジタル事項ヲ差當リ繼承スベシ

× 前記事項ハ事體之ヲ許スニ伴ヒ兩國間ノ協議ニ依リ條約及附屬文

書ノ趣旨ニ準據シテ調整セラルベキモノトス

(註、中國側ハ第一項末尾「差當リ繼承スベシ」ヲ削除シ第二項

ト接續セシメ「、、辦ジタル事項ハ事體之ヲ許スニ伴ヒ

、、調整セラルベキモノトス」ノ如ク改ムベキコトヲ主

張シ未決定)

漢譯ハ
如何トモ
之ハ如何
空想カ
ト付

第三條 (撤兵ニ關スル件)

×兩國間ノ全般的平和克復シ戰爭狀態終了シタルトキハ日本國軍隊ハ約定ニ基キ駐屯スルモノヲ除キ撤去ヲ開始シ治安確立後二年以内ニ之ヲ完了スベク中華民國政府ハ本期間ニ於テ治安ノ確立ヲ保障スルモノトス

(註、中國側ハ「治安確立後ヲ」ヲ「治安確立ト同時ニ」ト修正方希望ス)

一、ト其ハ根拠院ニテ説明出ス
二、ハ期了ハ何ヲ指スヤス明
三、約定ハ此後如何ハス

第四條 (日本國臣民ノ蒙リタル權利利益ノ損害補償並ニ中華民國

難民ノ救済ニ關スル件)

七一九五) ○中華民國政府ハ事變發生以來中華民國ニ於テ事變ニ因リ日本國臣

民ノ蒙リタル權利利益ノ損害ヲ補償スベシ

七一九五) ○日本國政府ハ事變ノ爲生ジタル中華民國難民ノ救済ニ付中華民國

政府ニ協力スベシ

此等文書ニ

提出ニ付

之

附屬議定書要綱案第二條修正案 昭、十五、八、一

第二條 従前中華民國臨時政府、中華民國維新政府等ノ辦シタル事
項ハ中華民國政府ニ依リ適當ニ繼承^{其儘}セラルモノナルニ依リ右
事項ハ事態之ヲ許スニ伴ヒ兩國間ノ協議ニ依リ條約及附屬文書ノ
趣旨ニ準據シテ調整セラルベキモノトス

B

在中華民國日本大使館

附屬議定書

附屬議定書要綱案第二條修正案（和譯）二九、八、二提出

第二條 従前中華民國臨時政府、中華民國維新政府等ノ辦シ
タル事項ハ中華民國政府ニ依リ繼承^{其儘}セラルモノナルニ依リ右
事項中調整ヲ要スルモノニシテ未ダ
調整セラレザルモノハ事態之ヲ許スニ伴ヒ兩國間ノ協議ニ依
リ條約及附屬文書ノ趣旨ニ準據シテ速カニ調整セラルベキモ
ノトス

B-0049

附屬秘密協定要綱案

昭、十五、八、二提出

第〇條 (外交上ノ相互提携ニ關スル件)

兩國政府ハ兩國共通ノ利益ヲ増進シ東亞ニ於ケル平和ヲ確保スル
爲相互提携ヲ基調トスル外交ヲ行ヒ之ニ反スルガ如キ一切ノ措置
ヲ第三國トノ關係ニ於テ執ラザルコトヲ約ス

第〇條 (艦船部隊ノ駐留及之ニ關聯スル軍事上ノ協力ニ關スル件)

條約第五條ノ規定ニ基キ日本國ハ所要ノ艦船部隊ヲ揚子江沿岸特
定地點竝ニ華南沿岸特定島嶼及地點ニ駐留セシムベク日本國艦船
ハ中華民國領域内ノ港灣水域ニ自由ニ出入、碇泊シ得ルモノトス
日本國及中華民國ハ兩國共通ノ利益ノ爲支那海ニ於ケル交通路ノ
安全ヲ確保スルコトヲ必要ト認メ條約第五條ノ規定ニ基キ兩國間
ニ別ニ協議決定セラルル所ニ從ヒ華南沿岸特定島嶼及地點ニ於テ
緊密ナル軍事上ノ協力ヲ行フコトヲ約ス

第①條 (鐵道、航空、通信、主要港灣及水路ニ付テノ軍事上ノ必要事項處理ニ關スル件)

中華民國政府ハ中華民國領域内ニ駐屯スル日本國軍隊ノ駐屯地域及之ニ關聯スル地域ニ存在スル鐵道、航空、通信、主要港灣及水路等ニ付兩國間ニ別ニ協議決定セラルル所ニ從ヒ日本國ノ軍事上ノ必要事項ニ關シ其ノ要求ニ應ズルコトヲ約ス但シ平時ニ於ケル中華民國ノ行政權及管理權ハ尊重セラルベキモノトス

中華民國政府ハ前項ノ日本國軍隊ニ對シ駐屯ニ必要ナル諸般ノ便宜ヲ供與スルコトヲ約ス

第②條 (日本人顧問及職員ノ招聘、採用ニ關スル件)

中華民國政府ハ日本國政府トノ間ニ別ニ協議決定セラルル所ニ從ヒ日華協力事項ニ關シ日本人顧問及職員ヲ招聘シ又ハ採用スベシ

極秘

第○條 (秘密協定ノ條項ノ公表措置ニ關スル件)

兩國政府ハ必要ノ場合協議ノ上本協定ノ條項ノ全部又ハ一部ニ付公表スルノ措置ヲ執ルモノトス

兩國政府ハ兩國間ノ全面的平和克復後協議ノ上本協定第○條第一項ノ規定ニ付キ公表スルノ措置ヲ執ルベシ

日華滿共同宣言要綱案 昭、十五、八、五

日本國政府、中華民國政府及滿洲國政府ハ三國ガ緊密ニ相提携シテ道義ニ立脚スル東亞ノ新秩序ヲ確立シ以テ永遠ノ平和ヲ保持センコトヲ希望シ左ノ如ク宣言ス

一、日本國、中華民國及滿洲國ハ相互ニ其ノ主權及領土ヲ尊重ス

二、日本國、中華民國及滿洲國ハ善隣友好ノ實ヲ舉グル爲施政ノ各般

ニ直リ互助敦睦ノ手段ヲ講ズ

B-0049

字

最終議定書要綱案

昭、十五、八、九

本日日本國中華民國間基本關係ニ關スル條約ニ署名スルニ當リ兩國
全權委員ハ右條約及附屬文書ガ左ノ基本原則ヲ基礎トシテ作成セラ
レタルモノナルコトヲ確認ス

一、互恵ヲ基調トスル日華間ノ一般提携就中善隣友好、共同防共、

經濟提携原則ノ設定

二、華北及蒙疆ニ於ケル日華間ノ緊密ナル國防上及經濟上ノ合作地
帶ノ設定

防共ヲ目的トスル蒙疆ニ於ケル軍事上及政治上ノ特殊地位ノ設
定

極秘

三、揚子江下流地域ニ於ケル日華間ノ緊密ナル經濟上ノ合作ノ具現
四、華南沿岸特定島嶼ニ於ケル日華間ノ緊密ナル軍事上ノ合作ノ具
現

右證據トシテ兩國全權委員ハ本最終議定書ニ署名調印セリ

昭和十五年 月 日即チ中華民國二十九年 月 日南
京ニ於テ日本文及漢文ヲ以テ本書各二通ヲ作成ス

B-0049

附屬議定書要綱案第三條修正案

昭、十五、八、十一

第三條（撤兵ニ關スル件）

兩國間ノ全般的平和克復シ戰爭狀態終了シタルトキハ日本國軍隊ハ
本日署名セラレタル條約及兩國間ノ現行約定ニ基キ駐屯スルモノヲ
除キ撤去ヲ開始シ治安確立後二年以内ニ之ヲ完了スベク中華民國政
府ハ本期間ニ於テ治安ノ確立ヲ保障スルモノトス

秘密協定要綱案第

條

昭、十五、八、九

第

條

（海南島其ノ他華南沿岸特定島嶼ニ於ケル資源ノ開發利用

ニ關スル件）

條約第六條ノ規定ニ關聯シ中華民國政府ハ海南島其ノ他華南沿岸特定
島嶼ニ於ケル特定資源就中國防上必要ナル資源ニ關シ日本國及日本國
臣民ト緊密ニ協力シテ之ガ開發生產ヲ計ルベシ右資源ノ利用ニ關シテ
ハ中華民國ノ需要ヲ考慮シ中華民國政府ハ日本國及日本國臣民ニ對シ
積極的ニ充分ナル便宜ヲ提供スルモノトス

附屬秘密協定要綱案

昭、十五、八、十四提出

第一條 (外交上ノ相互提携ニ關スル件)

兩國政府ハ兩國共通ノ利益ヲ増進シ東亞ニ於ケル平和ヲ確保スル
爲相互提携ヲ基調トスル外交ヲ行ヒ之ニ反スルガ如キ一切ノ措置
ヲ第三國トノ關係ニ於テ執ラザルコトヲ約ス

第二條 (艦船部隊ノ駐留及之ニ關聯スル軍事上ノ協力ニ關スル件)

條約第五條ノ規定ニ基キ日本國ハ所要ノ艦船部隊ヲ湯子江沿岸特
定地點竝ニ華南沿岸特定島嶼及地點ニ駐留セシムベク日本國艦船
ハ中華民國領域内ノ港灣水域ニ自由ニ出入、碇泊シ得ルモノトス
日本國及中華民國ハ兩國共通ノ利益ノ爲支那海ニ於ケル交通路ノ
安全ヲ確保スルコトヲ必要ト認メ條約第五條ノ規定ニ基キ兩國間
ニ別ニ協議決定セラルル所ニ從ヒ華南沿岸特定島嶼及地點ニ於テ
緊密ナル軍事上ノ協力ヲ行フコトヲ約ス

B-0049

第三條 (海南島其ノ他華南沿岸特定島嶼ニ於ケル資源ノ開發利用ニ關スル件)

條約第六條ノ規定ニ關聯シ中華民國政府ハ海南島其ノ他華南沿岸特定島嶼ニ於ケル特定資源就中國防上必要ナル資源ニ關シ日本國及日本國臣民ト緊密ニ協力シテ之ガ開發生産ヲ計ルベシ右資源ノ利用ニ關シテハ中華民國ノ需要ヲ考慮シ中華民國政府ハ日本國及日本國臣民ニ對シ積極的ニ充分ナル便宜ヲ提供スルモノトス

第四條 (鐵道、航空、通信、主要港灣及水路ニ付テノ軍事上ノ必要事項處理ニ關スル件)

中華民國政府ハ中華民國領域内ニ駐屯スル日本國軍隊ノ駐屯地域及之ニ關聯スル地域ニ存在スル鐵道、航空、通信、主要港灣及水路等ニ付兩國間ニ別ニ協議決定セラルル所ニ從ヒ日本國ノ軍事上ノ必要事項ニ關シ其ノ要求ニ應ズルコトヲ約ス但シ平時ニ於ケル中華民國ノ行政權及管理權ハ尊重セラルベキモノトス
中華民國政府ハ前項ノ日本國軍隊ニ對シ駐屯ニ必要ナル諸般ノ便宜ヲ供與スルコトヲ約ス

第五條 (日本人顧問及職員ノ招聘、採用ニ關スル件)

中華民國政府ハ日本國政府トノ間ニ別ニ協議決定セラルル所ニ從
ヒ日華協力事項ニ關シ日本人顧問及職員ヲ招聘シ又ハ採用スベシ

第六條 (秘密協定ノ條項ノ公表措置ニ關スル件)

兩國政府ハ必要ノ場合協議ノ上本協定ノ條項ノ全部又ハ一部ニ付
公表スルノ措置ヲ執ルモノトス

兩國政府ハ兩國間ノ全面的平和克復後協議ノ上本協定第二條第一
項及第三條ノ規定ニ付キ公表スルノ措置ヲ執ルベシ

7月14日 外交部 提出

第二條 (艦船部隊ノ駐留及之ニ關聯スル軍事上ノ協力ニ關スル件)
條約第五條ノ規定ニ基キ日本國ハ所要ノ艦船部隊ヲ揚子江沿岸特
定地點竝ニ華南沿岸特定島嶼及地點ニ駐留セシムベク日本國艦船
ハ中華民國領域内ノ港灣水域ニ自由ニ出入、碇泊シ得ルモノトス
日本國及中華民國ハ兩國共通ノ利益確保ノ爲支那海ノ交通路ヲ維
持シ其ノ安全ヲ擁護スルコトヲ必要ト認メ條約等五條ノ規定ニ基
キ兩國間ニ別ニ協議決定セラルル所ニ從ヒ華南沿岸特定島嶼及地
點ニ於テ緊密ナル軍事上ノ協力ヲ行フコトヲ約ス

イナニシテ或ハ後ノ事アリトモ作

秘密協定要綱案第四條修正案 十五、八、十五

第四條 (鐵道、航空、通信、主要港灣及水路ニ付テノ軍事上ノ必
要事項處理ニ關スル件)

中華民國政府ハ中華民國領域内ニ駐屯スル日本國軍隊ノ駐屯地域
及之ニ關聯スル地域ニ存在スル鐵道、航空、通信、主要港灣及水
路等ニ付兩國間ニ別ニ協議決定セラルル所ニ從ヒ日本國ノ軍事上
ノ必要事項ニ關シ其ノ要求ニ應ズルコトヲ約ス但シ平時ニ於ケル
中華民國ノ行政權及管理權ハ尊重セラルベキモノトス
中華民國政府ハ前項ノ日本國軍隊ニ對シ兩國間ニ別ニ協議決定セ
ラルル所ニ從ヒ駐屯ニ必要ナル諸般ノ便宜ヲ供與スルコトヲ約ス

秘密協定要綱案第六條修正案

十五、八、十五

第六條 (秘密協定ノ條項ノ公表措置ニ關スル件)

兩國政府ハ必要ノ場合協議ノ上本協定ノ條項ノ全部又ハ一部ニ付
公表スルノ措置ヲ執ルモノトス

兩國政府ハ兩國間ノ全般的平和克復ノ際又ハ其ノ以前ノ適當ノ時
期ニ於テ協議ノ上本協定第二條及第三條ノ規定ニ付キ公表スルノ
措置ヲ執ルベシ

B-0049

極秘

第二 秘密交換公文

昭、十五、八、十五

以書翰啓上致候陳者本日日本國中華民國間基本關係ニ關スル條約ニ署名スルニ當リ本使ト閣下トノ間ニ左ノ了解成立致候

第一

一、日本國政府ハ軍用手票ノ價值維持及其ノ回收ニ關シ適當ノ措置ヲ講ズルモノトス

ニ、中華民國政府ハ中國聯合準備銀行制度及之ニ關聯スル爲替制度ヲ承認スルヲ必要トスル間日本國政府ト協議ノ上之ニ對シ所要ノ助成ヲ爲スモノトス

中國聯合準備銀行券ノ準備率ノ決定ニ付キテハ中華民國政府ノ認可ヲ受クベク其ノ發行額及準備金額ニ關シテハ隨時之ヲ中華

民國政府ニ報告シ其ノ検査ヲ受クルモノトス

三、華興商業銀行ハ其ノ存續ヲ認メラルベク且同銀行ハ中華民國ニ於ケル新中央銀行成立シ新法幣發行セラルルニ至ル迄發行權ヲ有スルモノトシ右期間後其ノ既ニ發行シタル銀行券ハ回收セラ

ルベキモノトス

第二

一、中華民國ニ於ケル國防上必要ナル特定ノ日華合辦事業ニ對スル日本側出資比率ハ華北ニ於テハ百分ノ五十五ヲ華北以外ノ地域ニ於テハ百分ノ四十九ヲ夫々超過スルヲ得ザルモノトス但シ合辦事業設立ノ際已ムヲ得ザル事情アル場合ニハ兩國協議ノ上必要ノ措置ヲ執ルベク又蒙疆ニ於テハ適宜ノ措置ヲ爲スヲ得ルモ

ノトス

ニ前項ノ日華合辦事業ノ目的ヲ促進セシムル爲メ兩國ハ其ノ事業ニ關シ適宜協議ヲ行ヒ且緊密ナル聯絡ヲ保持スルモノトス

第三

中華民國政府ハ日本國政府トノ間ニ勦ニ協議決定セラルル所ニ從ヒ日華協力事項ニ關シ日本人技術顧問及軍事顧問ヲ招聘シ並ニ日本人職員ヲ採用スルモノトス

第四

日本國軍隊占據地域ニ於ケル宣撫班ハ暴亂ノ平靜化ニ伴ヒ成ルベク速ニ之ヲ解消スルモノトス

第五

中華民國政府ニ復歸スル軍隊ニ關シテハ之ガ便宜ヲ考慮シ日華協議ノ上其ノ駐屯ノ爲地域ヲ移讓スルモノトス

本使ハ閣下ニ於テ右了解ヲ確認セラレシコトヲ希望致候

本使ハ茲ニ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候 敬具

昭和十五年 月 日 即チ中華民國二十九年 月 日 南京ニ於テ

附屬議定書ニ關スル日華兩國全權委員間
了解事項第一及第三修正案

昭、十五、八、十七提出

第一 中華民國ニ於ケル各種徵稅機關ニシテ目下軍事上ノ必要ニ依
リ特異ナル狀態ニ在ルモノニ付テハ中華民國ノ財政獨立尊重ノ趣
旨ニ基キ速ニ之ガ調整ヲ計ルモノトス

B-0049

第

(日本人顧問及職員ノ招聘、採用ニ關スル件)

中華民國政府ハ日本國政府トノ間ニ別ニ協議決定セラルル所ニ從
ヒ日華協力事項ニ關シ日本人技術顧問及軍事顧問ヲ招聘シ竝ニ日
本人職員ヲ採用スルモノトス

前項ノ顧問ノ職權及服務規程ハ中華民國政府ニ於テ日本國政府ト
協議ノ上之ヲ定ムベク又前項ノ職員ノ任務ハ中華民國法令ノ定ム
ル所ニ據ルモノトス

B-0049

秘密協定要綱案第二條修正案

昭、十五、八、十七提出

第二條（艦船部隊ノ駐留及之ニ關聯スル軍事上ノ協力ニ關スル件）
條約第五條ノ規定ニ基キ日本國ハ所要ノ艦船部隊ヲ揚子江沿岸特
定地點竝ニ華南沿岸特定島嶼及之ニ關聯スル地點ニ駐留セシムベ
ク日本國艦船ハ中華民國領域内ノ港灣水域ニ自由ニ出入、碇泊シ
得ルモノトス日本國及中華民國ハ兩國共通ノ利益確保ノ爲支那海
ノ交通路ヲ維持シ其ノ安全ヲ擁護スルコトヲ必要ト認メ條約第五
條ノ規定ニ基キ兩國間ニ別ニ協議決定セラルル所ニ從ヒ華南沿岸
特定島嶼及之ニ關聯スル地點ニ於テ緊密ナル軍事上ノ協力ヲ行フ
コトヲ約ス

秘密協定要綱案第二條修正案

昭、十五、八、十七提出

第二條（艦船部隊ノ駐留及之ニ關聯スル軍事上ノ協力ニ關スル件）
條約第五條ノ規定ニ基キ日本國ハ所要ノ艦船部隊ヲ揚子江沿岸特
定地點竝ニ華南沿岸特定島嶼及之ニ關聯スル地點ニ駐留セシムベ
ク日本國艦船ハ中華民國領域内ノ港灣水域ニ自由ニ出入、碇泊シ
得ルモノトス日本國及中華民國ハ兩國共通ノ利益確保ノ爲支那海
ノ交通路ヲ維持シ其ノ安全ヲ擁護スルコトヲ必要ト認メ條約第五
條ノ規定ニ基キ兩國間ニ別ニ協議決定セラルル所ニ從ヒ華南沿岸
特定島嶼及之ニ關聯スル地點ニ於テ緊密ナル軍事上ノ協力ヲ行フ
コトヲ約ス

秘密協定要綱案第四條修正案 十五、八、十七提出

第四條 (鐵道、航空、通信、主要港灣及水路ニ付テノ軍事上ノ必要事項處理ニ關スル件)

中華民國政府ハ中華民國領域内ニ駐屯スル日本國軍隊ノ駐屯地域及之ニ關聯スル地域ニ存在スル鐵道、航空、通信、主要港灣及水路等ニ付兩國間ニ別ニ協議決定セラルル所ニ從ヒ日本國ノ軍事上ノ必要事項ニ關シ其ノ要求ニ應ズルコトヲ約ス但シ平時ニ於ケル中華民國ノ行政權及管理權ハ尊重セラルベキモノトス

中華民國政府ハ前項ノ日本國軍隊ニ對シ兩國間ニ別ニ協議決定セラルル所ニ從ヒ駐屯ニ必要ナル諸般ノ便宜ヲ供與スルコトヲ約ス

秘密協定要綱案第五條 昭、十五、八、十七提出

第五條 (日臺合辦事業ノ日本側出資比率ニ關スル件、日臺合辦事業ノ目的促進ニ關スル件)

中華民國ニ於ケル國防上必要ナル特定ノ日臺合辦事業ニ關スル日本側出資比率ハ臺北ニ於テハ百分ノ五十五ヲ臺北以外ノ地域ニ於テハ百分ノ四十九ヲ夫々超過スルヲ得ザルモノトス但シ合辦事業設立ノ際已ムヲ得ザル事情アル場合ニハ兩國協議ノ上必要ノ措置ヲ執ルベク又該項ニ於テハ適宜ノ措置ヲ爲スヲ得ルモノトス
前項ノ日臺合辦事業ノ目的ヲ促進ヤシムル爲兩國ハ其ノ事業ニ關シ適宜協議ヲ行ヒ且緊密ナル聯絡ヲ保持スルモノトス

秘密協定要綱案第六條修正案

十五、八、十七提出

第六條 (秘密協定ノ條項ノ公表措置ニ關スル件)

兩國政府ハ必要ノ場合協議ノ上本協定ノ條項ノ全部又ハ一部ニ付
公表スルノ措置ヲ執ルモノトス

兩國政府ハ兩國間ノ全般的平和克復ノ際又ハ其ノ以前ノ適當ノ時
期ニ於テ協議ノ上本協定第二條及第三條ノ規定ニ付キ公表スルノ
措置ヲ執ルベシ

B-0049

議 事 錄 案 昭、十五、八、十七提出

昭和十五年 月 日第 四正式會議議事錄拔萃

第 條約ト「協議書類」トノ關係

本日ノ正式會議ニ於テ日華兩國交渉委員ハ今回締結ノ日華間條約及
附屬文書ト昭和十四年十二月三十日上海ニ於テ作成セラレタル「日
支新關係調整ニ關スル協議書類」トノ關係ニ關シ左記決議ヲ爲セリ

決 議

日華兩國交渉委員ハ今次條約締結交渉ヲ行フニ當リ客年十二月三
十日上海ニ於テ作成セラレタル「日支新關係ニ關スル協議書類」
ヲ商談ノ基礎ト爲シタル處右協議書類ハ其ノ内容多岐ニ亘リ日華

間新國交調整ノ最初ノ條約タル今次條約ニ其ノ内容ノ全部ヲ網羅
シテ規定スルハ今次條約締結ノ趣旨ニモ願ミ必シモ時宜ニ適スル
モノト認メラレザルヲ以テ今次交渉ニ於テハ兩國交渉委員ハ右協
議書類ニ規定セル事項中此ノ際特ニ條約化スルヲ適當トスルモノ
ノミヲ選擇シ之ヲ以テ條約及附屬文書ノ規定事項トスルニ意見一
致セリ

協議書類ノ内容中今回條約化ノ手續ヲ採ラザリシモノニ關シテモ
其ノ效力ノ存續スルコトヲ確認シ將來引續キ右協議書類ノ規定ニ
準據シ日華兩國協力シテ之ガ具現ニ努ムベク又條約及附屬文書ヲ
補足スル爲引續キ右^{協定書類}ニ準據シ更ニ具體的事項ニ付約定ヲ締結
スルヲ適當トスルニ意見一致セリ

第 (日華合辦事業ノ日本側出資比率ニ關スル件、日華合辦事業

ノ目的促進ニ關スル件)

一 中華民國ニ於ケル國防上必要ナル特定ノ日華合辦事業ニ對スル
日本側出資比率ハ華北ニ於テハ百分ノ五十五ヲ華北以外ノ地域
ニ於テハ百分ノ四十九ヲ夫々超過スルヲ得ザルモノトス但シ合
辦事業設立ノ際已ムヲ得ザル事情アル場合ニハ兩國協議ノ上必
要ノ措置ヲ執ルベク又蒙疆ニ於テハ適宜ノ措置ヲ爲スヲ得ルモ
ノトス

ニ 前項ノ日華合辦事業ノ目的ヲ促進セシムル爲兩國ハ其ノ事業ニ
關シ適宜協議ヲ行ヒ且緊密ナル聯絡ヲ保持スルモノトス

第三 日露合辦事業ニシテ固有資産ノ評價、口實比率其ノ他ニ付
正ヲ要スルモノアルニ於テハ兩國間ニ別ニ協議決定セラルル所ニ
從ヒ之ガ是正ノ措置ヲ講ズルモノトス

B-0049

極秘

日華滿共同宣言要綱修正案

昭、十五、八、十九

大日本帝國政府

中華民國國民政府及

滿洲帝國政府ハ

三國相互ニ其ノ本然ノ特質ヲ尊重シ東亞ニ於ケル新秩序建設ノ共同ノ理想ノ下ニ善隣トシテ緊密ニ相提携シ以テ東亞ニ於テ道義ニ基ク恒久的の平和ヲ確立シ之ヲ核心トシテ世界全般ノ平和ニ貢獻センコトヲ希望シ左ノ通宣言ス

一日本國、中華民國及滿洲國ハ相互ニ其ノ主權及領土ヲ尊重ス

ニ日本國、中華民國及滿洲國ハ互惠ヲ基調トスル三國間ノ一般提携

ノ實ヲ舉グル爲施政ノ各般ニ互リ互助戮力ノ手段ヲ講ズ

三日本國、中華民國及滿洲國ハ本宣言ノ趣旨ニ基キ速ニ約定ヲ締結ス

基本條約要綱案第三條第三項修正案

昭、十五、八、十九

第三條 (共同防共ニ關スル件、防共駐兵ニ關スル件)

(第三項)

日本國ハ兩國共同シテ防共ヲ實行スル爲所要期間中兩國間ニ別ニ協議決定セラルル所ニ從ヒ所要ノ軍隊ヲ發遣及華北ノ一定地域ニ駐屯セシムベシ

B-0049

基本條約要綱案第六條第二項修正案

昭、十五、八、十九

第六條

(第二項)

中華民國政府ハ華北及蒙疆並ニ海南島及其ノ附近ノ島嶼ニ於ケル
特定資源就中國防上必要ナル埋藏資源ニ關シ兩國緊密ニ協力シテ
之ヲ開發スルコトヲ約諾ス(後段原案通)

附屬議定書要綱案第一條第一項修正案

昭、十五、八、十九

第一條 (事變繼續中ノ特殊事態及其ノ調整並ニ戰爭目的完遂ニ對
スル協力ニ關スル件)

(第一項)

中華民國政府ハ日本國ガ中華民國領域内ニ於テ現ニ遂行シツツア
ル戰爭行爲ヲ繼續スル期間中右戰爭行爲遂行ニ伴フ特殊事態ノ存在
スルコト及日本國ガ右戰爭行爲ノ目的達成上必要ナル措置ヲ執ル
コトヲ諒解シ之ニ應ジ積極的ニ必要ナル措置ヲ講ズルモノトス

附屬議定書要綱案第一條第一項修正案

昭、十五、八、二十一提出

第一條 (事變繼續中ノ特殊事態及其ノ調整並ニ戰爭目的完遂ニ對スル協力ニ關スル件)

(第一項)

中華民國政府ハ日本國ガ中華民國領域内ニ於テ現ニ遂行シツツアル戰爭行為ヲ繼續スル期間中右戰爭行為遂行ニ伴フ特殊事態ノ存在スルコト及日本國ガ右戰爭行為ノ目的達成上必要ナル措置ヲ執ルコトヲ諒解シ之ニ應ジ

積極的ニ必要ナル措置ヲ講ズルモノトス

削除

附屬議定書要綱案第三條修正案

昭、十五、八、二十一提出

第三條 (撤兵ニ關スル件)

兩國間ノ全般的平和克復シ戰爭狀態終了シタルトキハ日本國軍隊ハ本日署名セラレタル日本國中華民國間基本關係ニ關スル條約及兩國間ノ現行約定ニ基キ駐屯スルモノヲ除キ撤去ヲ開始シ治安確立ト共ニ二年以内ニ之ヲ完了スベク中華民國政府ハ本期間ニ於テ治安ノ確立ヲ保障スルモノトス

未

附屬議定書要綱案第五條及末文案

昭、十五、八、二十一提出

第五條 (實施期日ニ關スル件)

本議定書ハ條約ト同時ニ實施セラルベシ

右證據トシテ兩國全權委員ハ本議定書ニ署名調印セリ

昭和 年 月 日 即チ中華民國 年 月 日

ニ於テ日本文及漢文ヲ以テ本書各二通ヲ作成ス

B-0049

基本條約要綱案第三條第三項修正案

昭、十五、八、二十一提出

第三條 (共同防共ニ關スル件、防共駐兵ニ關スル件)

(第三項)

日本國ハ兩國共同シテ防共ヲ實行スル爲所要期間中兩國間ニ別ニ
協議決定セラルル所ニ從ヒ所要ノ軍隊ヲ蒙疆及華北ノ一定地域ニ
駐屯セシムベシ

基本條約要綱案第六條第二項修正案

昭、十五、八、二十一提出

第六條

(第二項)

中華民國政府ハ華北及蒙疆並ニ海南島及其ノ附近ノ島嶼ニ於ケル
特定資源就中國防上必要ナル埋藏資源ニ關シ兩國緊密ニ協力シテ
之ヲ開發スルコトヲ約諾ス(後受原案通)

基本條約要綱案第八條、第九條及本文案

昭、十五、八、二十一提出

第八條（具體的約定ノ締結ニ關スル件）

兩國政府ハ本條約ノ目的ヲ達成スル爲必要ナル具體的事項ニ關シ
更ニ約定ヲ締結スルモノトス

第九條（實施期日ニ關スル件）

本條約ハ署名ノ日ヨリ實施セラレベシ

右證據トシテ下名ハ各本國政府ヨリ正當ノ委任ヲ受ケ本條約ニ署名
調印セリ

昭和 年 月 日即チ中華民國 年 月 日
ニ於テ日本文及漢文ヲ以テ本書各二通ヲ作成ス

極秘

秘密交換公文（甲）原案修正案 昭一五、八、二十二提出
以警衛客上並候補者本日日本國中華民國間並本關係ニ關スル條約ニ
署名スルニ當リ本官ト閣下トノ間ニ左ノ瞭解成立並候補

第一

蒙疆（內長城線（含マズ）以北ノ地域トス）ハ前記條約ノ規定ニ
基キ國防上及經濟上日華兩國ノ強度結合地帶タル特殊性ヲ有スル
モノナルニ鑑ミ現狀ニ基キ廣汎ナル自治權ヲ認メタル高度ノ防共
自治區域トスルモノトス

中華民國政府ハ蒙疆ノ自治ニ關スル法令ニ依リ蒙疆自治ノ權限ヲ
規定スベク右法令ノ制定ニ付テハ豫メ日本國政府ト協議スルモノ
トス

第二

一 中華民國政府ハ前記條約及附屬文書ノ規定ニ基キ華北（內長城
線（含ム）以南ノ河北省及山西省並ニ山東省ノ地域）ガ國防上
及經濟上日華間ノ緊密ナル合作地帶タルニ鑑ミ華北ニ華北政務
委員會ヲ設置シ同委員會ヲシテ中華民國臨時政府ノ辦シタル事
項ヲ繼承處理セシメ居ル處右委員會ノ權限構成ハ兩國間ノ全盤
的平和克復後下記ニノ條項ヲ具現シ得ルヲ以テ限度トシ之ヲ目
途トシテ速ニ調整整理セラルベキモノトス

二 兩國間ノ全盤的平和克復後華北ニ於ケル日華協力事項中華北政
務委員會ガ地方的ニ處理シ得ル事項ハ左ノ通トシ右ニ關シテハ
中華民國政府ハ日本國政府トノ協議ニ基ク法令ニ依リ之ヲ規定
スルモノトス

B-0049

甲、防共及治安協力ニ關スル事項

(一) 日本國軍隊駐屯ニ伴フ事項ニ關スル處理

(二) 日蘇國ノ防共及治安協力ニ關スル所屬事項ノ處理

(三) 其ノ他日蘇軍事協力ニ關スル處理

但シ國防軍ニ關スル處理ハ中華民國政府ノ華北ニ特設スル軍事處理機關ニ依ルモノトス又華北政務委員會ノ保有スル總司令部ノ兵力ニ關シテハ別ニ定ムル所ニ據ルモノトス

乙、華北ニ於ケル經濟提攜就中國防上必要ナル埋藏資源ノ開發利用並ニ日本國、滿洲國、蒙疆及華北間ノ物資需給ニ關スル事項

(一) 日本國及日本國臣民ニ對シ資源就中國防上必要ナル埋藏資源ノ開發利用ニ關スル便宜供與ニ關スル事項

(二) 日本國、滿洲國、蒙疆及華北間ノ物資需給ノ便宜且合理化ニ關スル處理

(三) 日本國、滿洲國、蒙疆及華北間ノ通貨及爲替ニ付テノ協力ニ關スル處理

(四) 鐵道、航空、通信、主要輸運ニ付テノ協力ニ關スル處理

丙、日本人顧問及職員ノ招聘採用ニ關スル事項

丁、前記甲、乙及丙ニ掲ゲラザル事項ニ付テノ日本國及滿洲國トノ純粹ナル地方的處理ニ關スル交渉

又華北政務委員會ハ中華民國政府ノ決定スル範圍内ニ於テ蒙疆トノ地方的連絡ニ關スル處理ヲ行フコトヲ得ルモノトス

又華北政務委員會ガ前記ニ及ビニ掲ゲラザル事項ヲ處理シタル場合ハ隨時之ヲ中華民國政府ニ報告スルモノトス

第三

中華民國政府ハ前記條約及附屬文書ノ規定ニ基キ揚子江下流地域ニ於テ經濟上日華間ノ緊密ナル合作ヲ具現スルコトナリタルニ鑑ミ且右ニ緊密シ日華協力ノ實現上特ニ上海ノ占ムル重要ナル地位ニ鑑ミ日本國政府ト協力シテ新上海ヲ建設スベク左記各項ニ照シ別ニ協議決定セラルル所ニ從ヒ日華間ノ提携ヲ具現スルモノトス

一兩國ハ揚子江下流地域特ニ上海ニ於テ貿易、金融、産業及交通等ニ緊密シ緊密ニ協力スルコト

日華經濟協議會ヲ設置スルコト

二兩國ハ上海ニ於テ風俗、教育、宣傳、衛生、醫藥及文化事業ニ

緊密シ緊密ニ協力スルコト

三上海特別市ノ建設ニ關シ中華民國政府ハ同特別市ノ財源ニ付充分考慮シ建設ニ支障ナカラシムベク日本國政府ハ右建設ニ付技術的協力ヲナスコト

四上海特別市ノ對外交通ニ關シテハ總ヘズ兩國間ニ緊密ナル連絡ヲ保チ協力スルコト

五日本國重慶駐屯ニ伴フ事項中上海ニ於ケル地方的處理ニ付テハ上海特別市政府ヲシテ之ニ當ラシムルコト

第四

中華民國政府ハ前記條約及附屬文書ノ規定ニ基キ華南沿岸特定島嶼及之ニ關聯スル地點ニ於テ緊密ナル軍事上ノ合作及經濟上ノ提携ヲ具現スルコトナリタルニ鑑ミ兩國間ニ別ニ協議決定セラルル所ニ依リ現狀ニ從ヒ左ノ措置ヲ執ルモノトス

一 海南島及附近ノ諸島嶼ヲ省域トスル一省ヲ設クルコト

一 廈門島及其ノ附近ヲ市域トスル廈門特別市ヲ設クルコト

一 前記諸地域ニ於ケル日華協力事項中軍事協力及經濟提携ニ關スル事項ニ付圓滑ニ地方的處理ヲ行ヒ得ル如ク措置スルコト

第五

中華民國政府ハ日本國政府トノ間ニ別ニ協議決定セラルル所ニ從
ヒ日露協力事項ニ關シ日本人技術顧問及軍事顧問ヲ招聘シ茲ニ日
本人職員ヲ採用スルモノトス

前項ノ顧問ノ職務及服務規程ハ兩國間ニ別ニ協議決定セラルル所
ニ從ヒ中華民國政府ニ於テ之ヲ定ムベク又前項ノ職員ノ任務ハ中
華民國法令ノ定ムル所ニ從ルモノトス

本官ハ閣下ニ於テ右ノ條ヲ確認セラレシコトヲ希望致候

本官ハ茲ニ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候 敬具

昭和十五年 月 日即チ中華民國二十九年 月 日南京ニ
於テ

B-0049